

## 平成 29 年度 被保険者のメンタル系疾患の動向に関するレポート

令和元年 5 月

健康保険組合連合会

IT 推進部 データ分析推進グループ

### 調査の概要及び対象データ

本レポートは、職場のメンタルヘルス対策の観点から、1,280 組合の被保険者(約 1,568 万人)の「医科」・「調剤」電算処理レセプト(1 億 3,862 万件)をもとに、<1>「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」、<2>「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」、<3>「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の有病者数や医療費について調査したものです。

### 調査対象疾患 (ICD-10 コード)

F20-F29		統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害
<1>	F20,F21,F22	統合失調症、統合失調症型障害、持続性妄想性障害、急性一過性精神病性障害、感応性妄想性障害、統合失調感情障害、その他の非器質性精神病性障害、詳細不明の非器質性精神病
	F23,F24,F25, F28F29	
F30-F39		気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
<2>	F30,F31,F32	躁病エピソード、双極性感情障害<躁うつ病>、うつ病エピソード、反復性うつ性病障害、持続性気分[感情]障害、その他の気分[感情]障害、詳細不明の気分[感情]障害
	F33,F34,F38 F39	
F40-F48		神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
<3>	F40,F41,F42	恐怖症性不安障害、その他の不安障害、強迫性障害<強迫神経症>、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性[転換性]障害、身体表現性障害、その他の神経症性障害
	F43,F44,F45 F48	

### 調査対象データ

組合数	区分	加入者数 (人)	医科・調剤レセプト 件数(件)
1,280 組合	合計	15,680,980	138,623,755
	被保険者		
	男性	10,284,893	86,037,725
	女性	5,396,102	52,586,030

加入者数は、「合計」及び「男性」、「女性」の各加入者数を月平均により算出しているため、「男性」、「女性」の合計が加入者「合計」とは一致しない。

## 目次

### ・統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害

1．医科入院外	
（1）有病者数の動向	4
（2）年齢階層別にみた有病者数（平成30年3月）及び構成割合	6
（3）1人当たり医療費及び医療費3要素	8
（4）年齢階層別にみた1人当たり医療費	8
2．医科入院	
（1）有病者数の動向	10
（2）年齢階層別にみた有病者構成割合	11
（3）推計1入院当たり医療費	12
（4）年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費	12
（5）推計平均在院日数	14
（6）年齢階層別にみた推計平均在院日数	14
（7）千人当たり推計新規入院件数	16
（8）年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数	16

### ・気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）

1．医科入院外	
（1）有病者数の動向	18
（2）年齢階層別にみた有病者数（平成30年3月）及び構成割合	20
（3）1人当たり医療費及び医療費3要素	22
（4）年齢階層別にみた1人当たり医療費	22
2．医科入院	
（1）有病者数の動向	24
（2）年齢階層別にみた有病者構成割合	25
（3）推計1入院当たり医療費	26
（4）年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費	26
（5）推計平均在院日数	28
（6）年齢階層別にみた推計平均在院日数	28
（7）千人当たり推計新規入院件数	30
（8）年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数	30

．神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	
1．医科入院外	
(1) 有病者数の動向	32
(2) 年齢階層別にみた有病者数（平成30年3月）及び構成割合	34
(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素	36
(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費	36
2．医科入院	
(1) 有病者数の動向	38
(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合	39
(3) 推計1入院当たり医療費	40
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費	40
(5) 推計平均在院日数	42
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数	42
(7) 千人当たり推計新規入院件数	44
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数	44
用語の定義	46
参考	47

・ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害

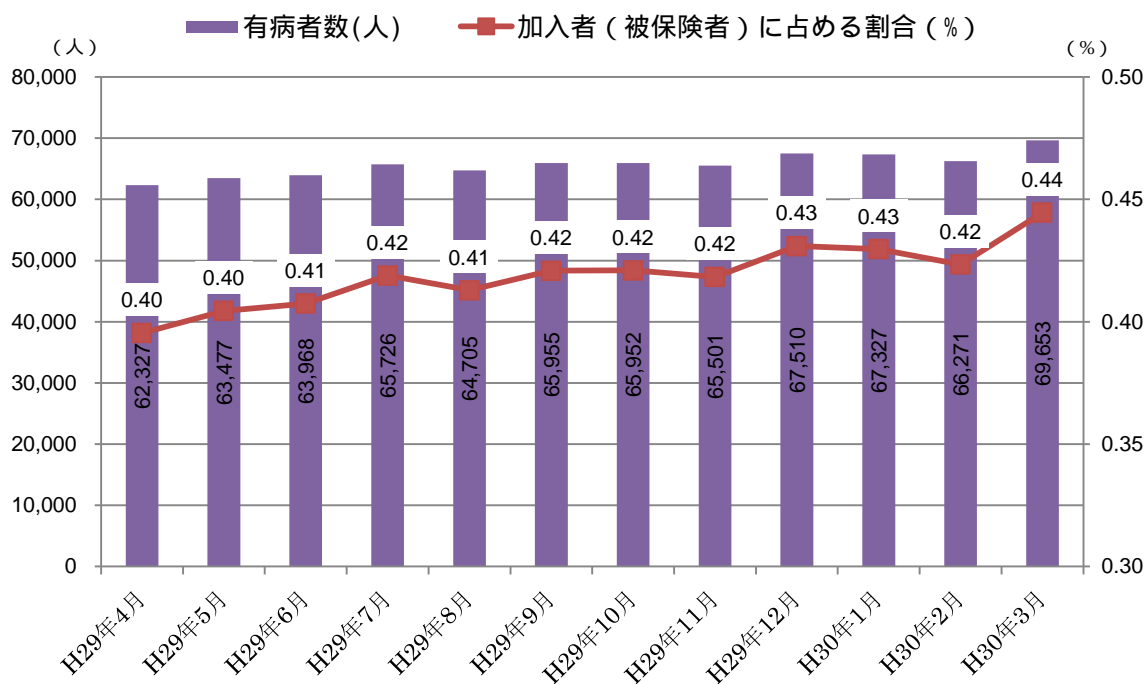
1. 医科入院外

(1) 有病者数<sup>1</sup>の動向

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外における有病者数の割合は平均 0.42%となっており、男女別にみると男性・女性ともに 0.42%となっている。月別推移をみると、0.40%～0.44%で推移しており、7月、9月、12月、3月に増加する傾向がみられる。また、男女別(p.5)にみても同様の傾向がみられる。

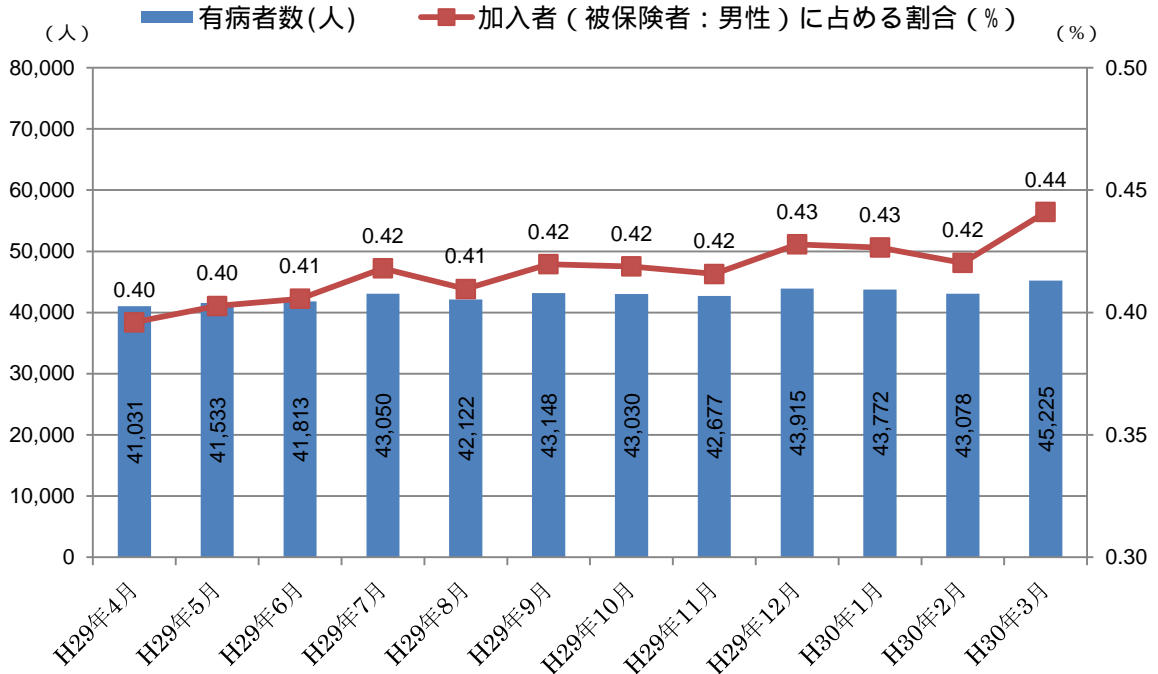
被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)	0.42%
男性	0.42%
女性	0.42%

医科入院外：有病者数の月別推移  
被保険者【男女計】

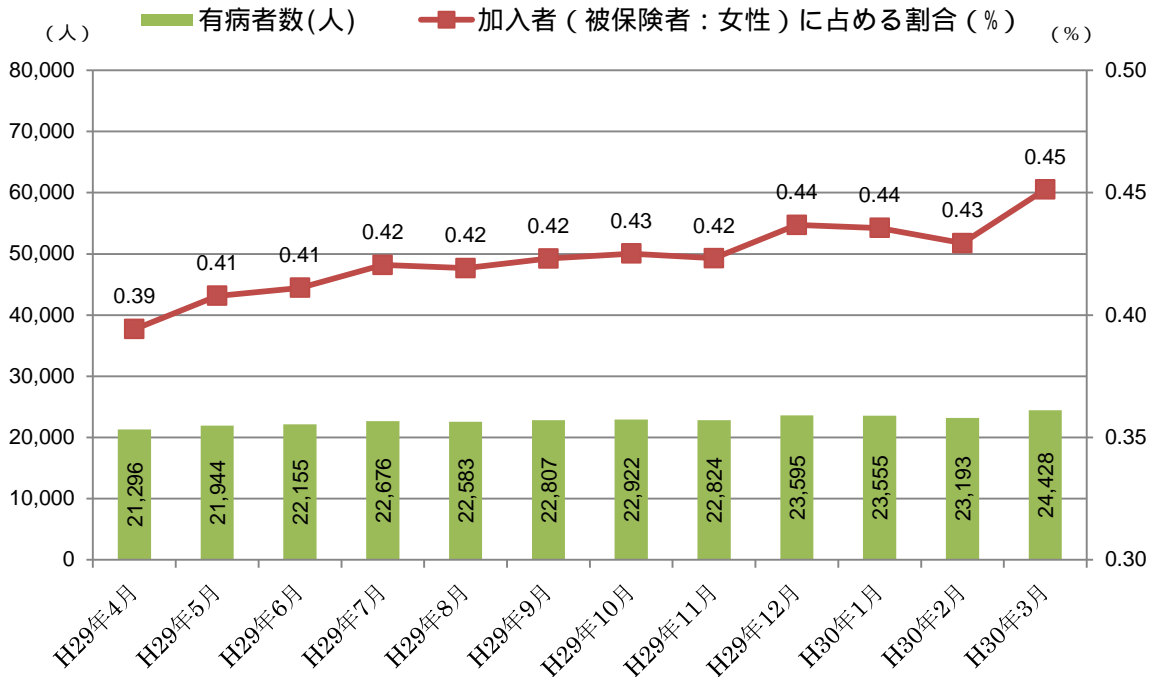


<sup>1</sup> 有病者数は、レセプト上に当該傷病名の記載がある受診者の数である(なお、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントしている。また、1受診者に複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに1人とカウントしている)。

### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



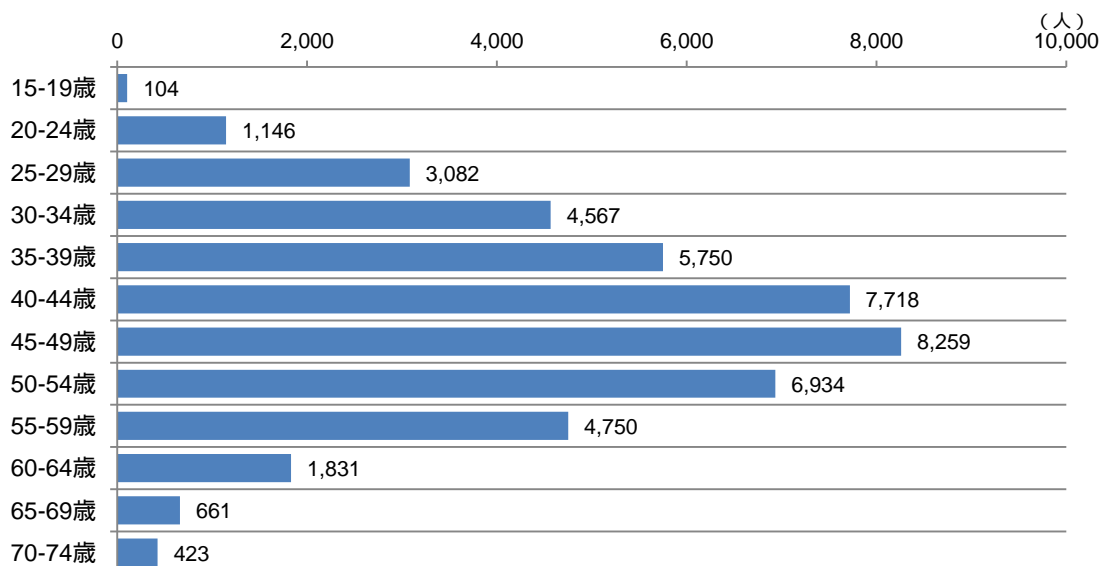
(2) 年齢階層別にみた有病者数(平成30年3月)及び構成割合

有病者数の最も多い平成30年3月について、年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外における有病者数をみると、男性では、45-49歳が最も多く、次いで40-44歳、50-54歳の順となっており、構成割合をみると(p.7)、40～54歳で全体の約5割を占めている。

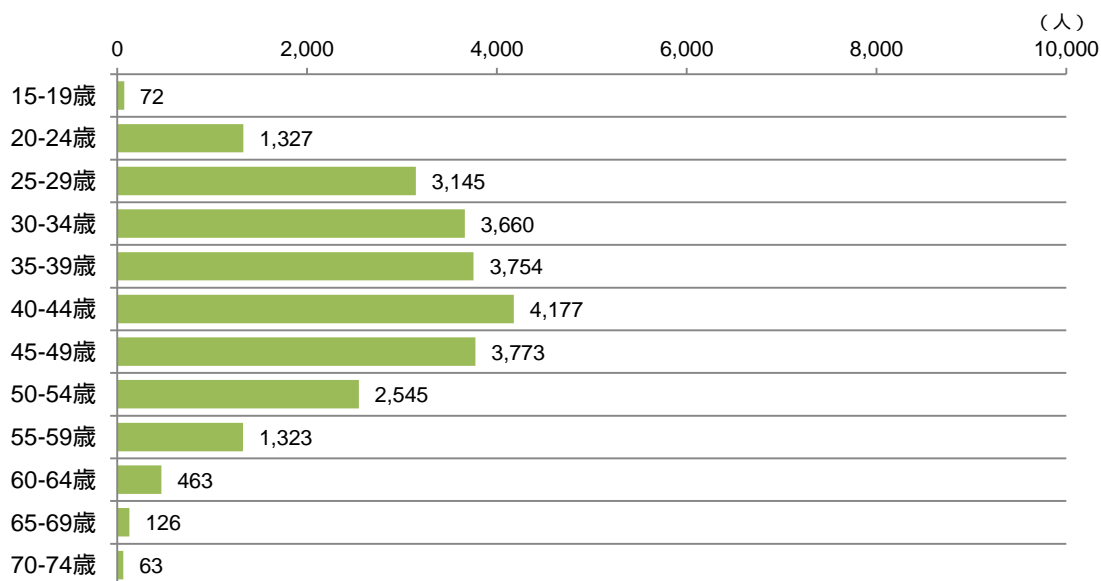
また、女性では、40-44歳が最も多く、次いで、45-49歳、35-39歳となっており、構成割合をみると(p.7)、35～49歳で全体の約5割を占め、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院外：有病者数(平成30年3月)

被保険者【男性】

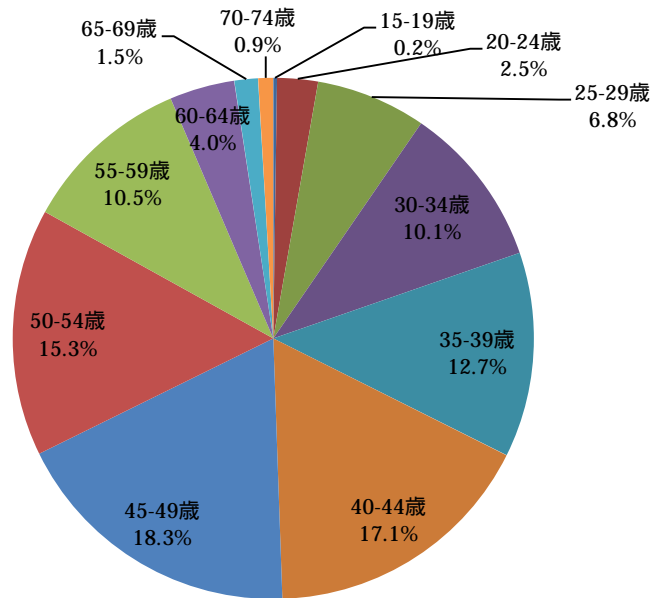


被保険者【女性】

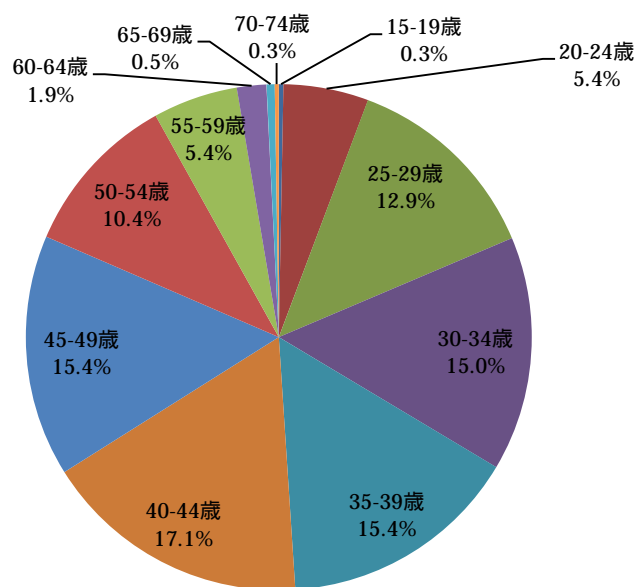


医科入院外：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



( 3 ) 1人当たり医療費及び医療費 3 要素

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外における1人当たり医療費は、合計:451円、男性:459円、女性:437円となっており、男性のほうがやや高い。男性の1人当たり医療費が高い要因を医療費3要素からみてみると、女性に比べ、1件当たり日数がやや長く、1日当たり医療費がやや高いことが挙げられる。

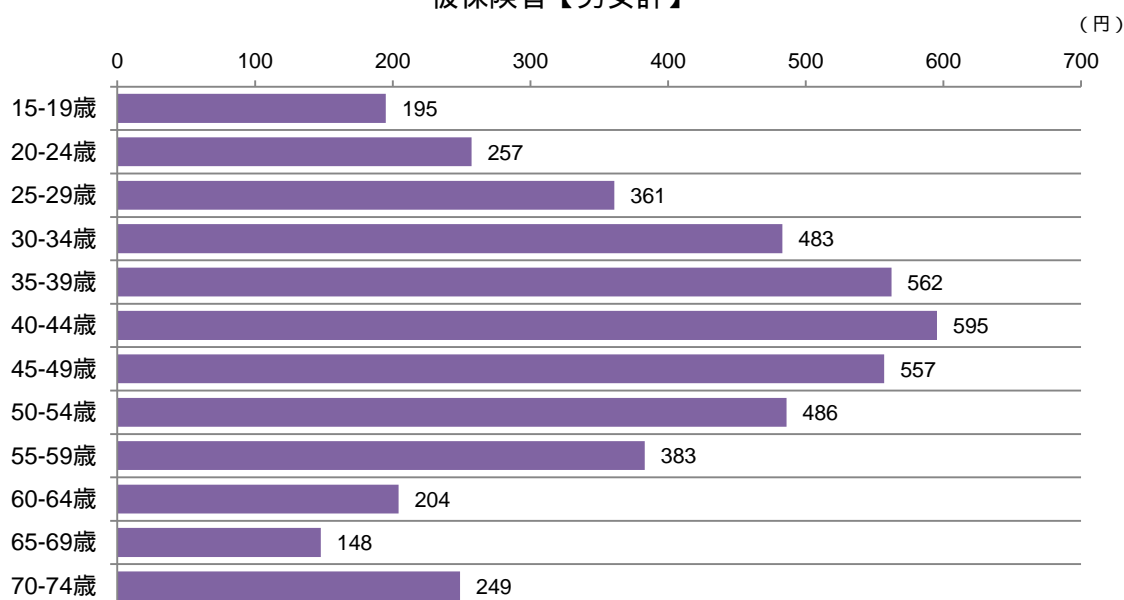
	区分	1人当たり 医療費(円)	受診率 <sup>2</sup> (千人当たり)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
被 保 険 者	合計	451	50.6	1.6	5,487
	男性	459	50.4	1.7	5,515
	女性	437	51.1	1.6	5,432

( 4 ) 年齢階層別にみた1人当たり医療費

年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外の1人当たり医療費をみると、40-44歳:595円が最も高く、次いで、35-39歳:562円、45-49歳:557円となっている。

男女別にみると(p.9)、男性では40-44歳、45-49歳、35-39歳の順に高く、女性では、40-44歳、35-39歳、30-34歳の順に高くなっており、男性に比べ、比較的若い年齢で高い傾向が示されている。

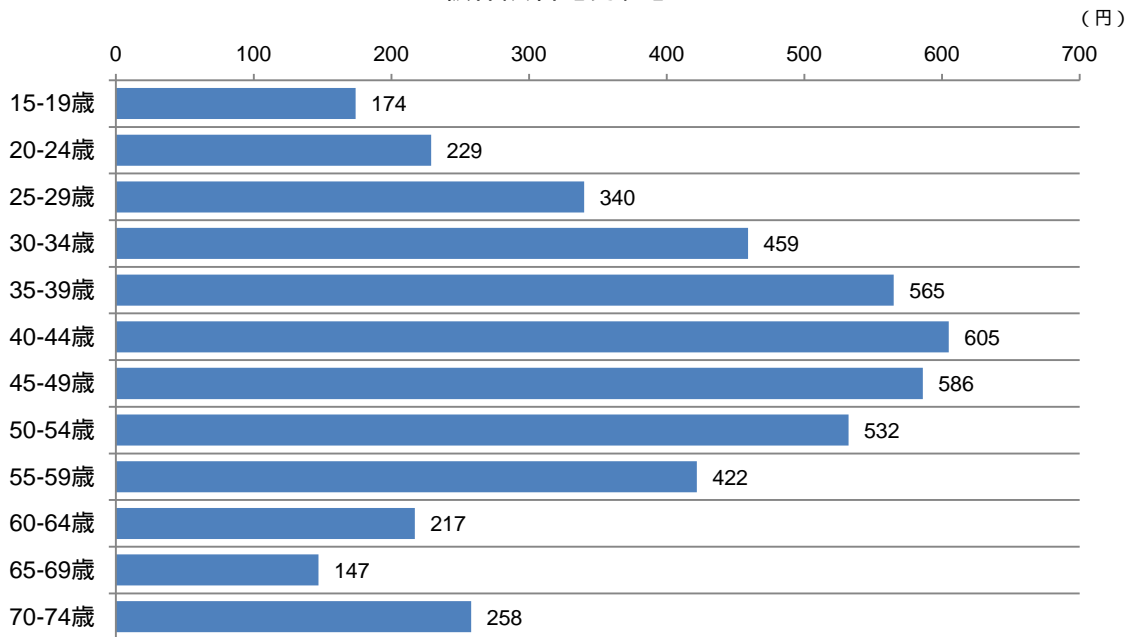
医科入院外：年齢階層別1人当たり医療費  
被保険者【男女計】



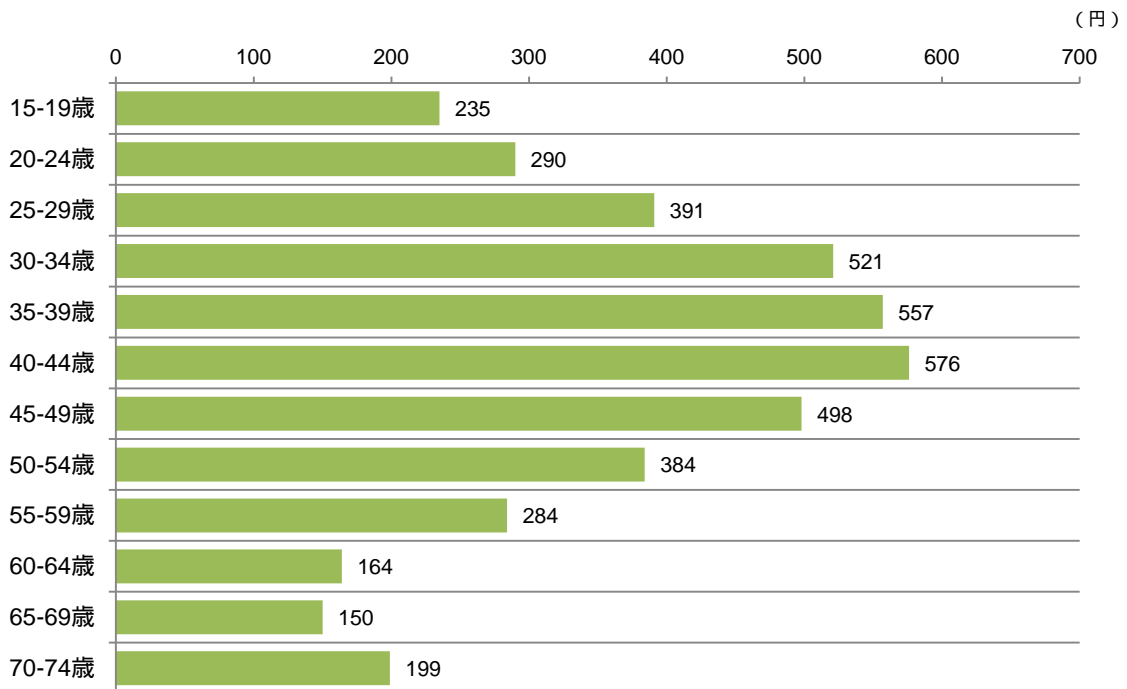
<sup>2</sup> 当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数(各月末の加入者数の和を12で除したもの)で除し1,000倍したものである。



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



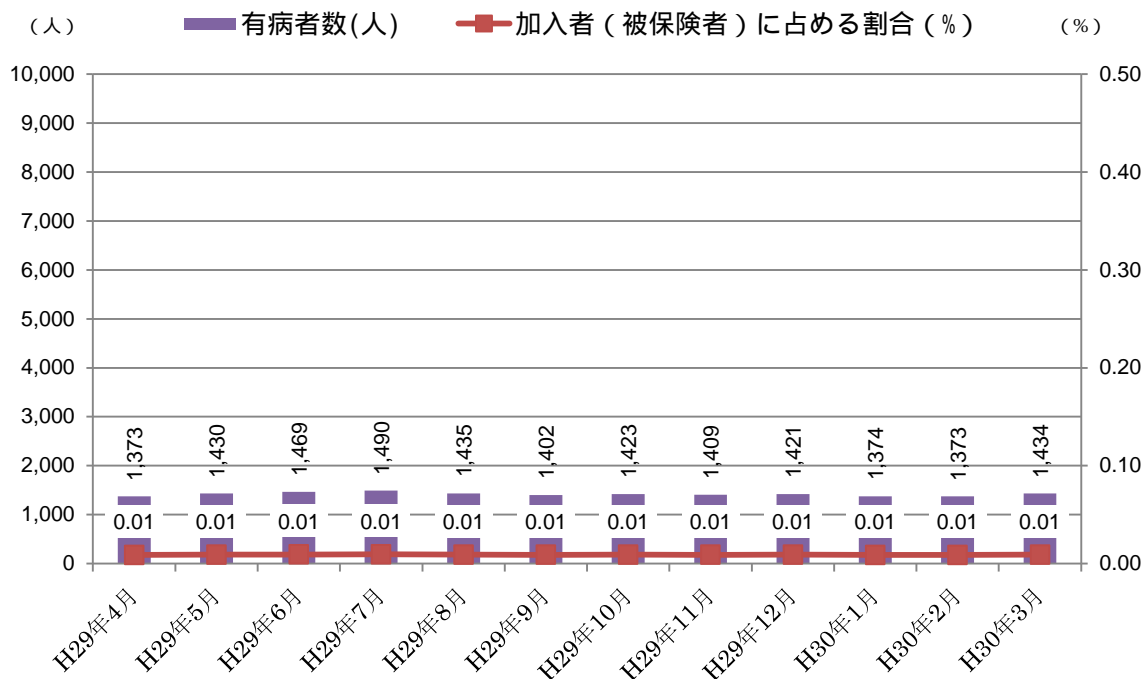
## 2. 医科入院

### (1) 有病者数の動向

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院における有病者数の割合は平均 0.01%となっており、男女別にみると、男性・女性ともに 0.01%となっている。月別推移をみると、どの月においても概ね 0.01%で推移している。

被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)		0.01%
	男性	0.01%
	女性	0.01%

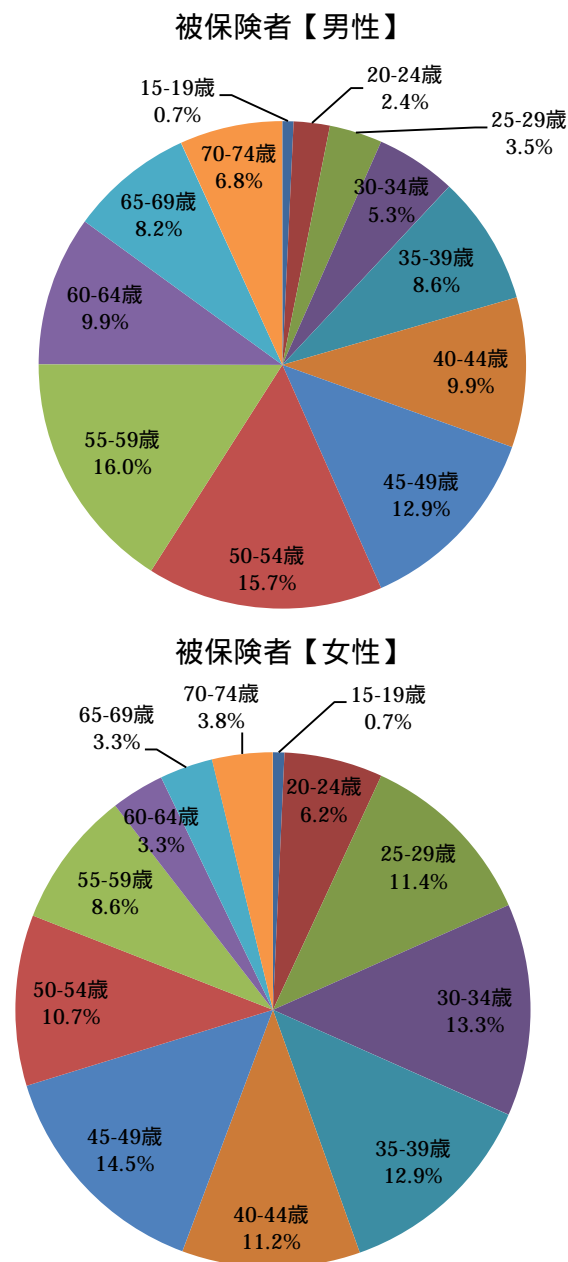
医科入院：有病者数の月別推移  
被保険者【男女計】



(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院における有病者の年齢階層別構成割合をみると、男性では、55-59歳：16.0%が最も高く、次いで、50-54歳：15.7%、45-49歳：12.9%となっており、40～59歳で全体の約5割を占める。女性では、45-49歳：14.5%が最も高く、次いで、30-34歳：13.3%、35-39歳：12.9%となっており、30～49歳で全体の約5割を占め、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院：年齢階層別有病者の構成割合



(3) 推計1入院当たり医療費

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計1入院当たり医療費は、合計:56万3,447円に対し、男性:55万1,792円、女性:59万1,675円となっており、女性のほうが高くなっている。

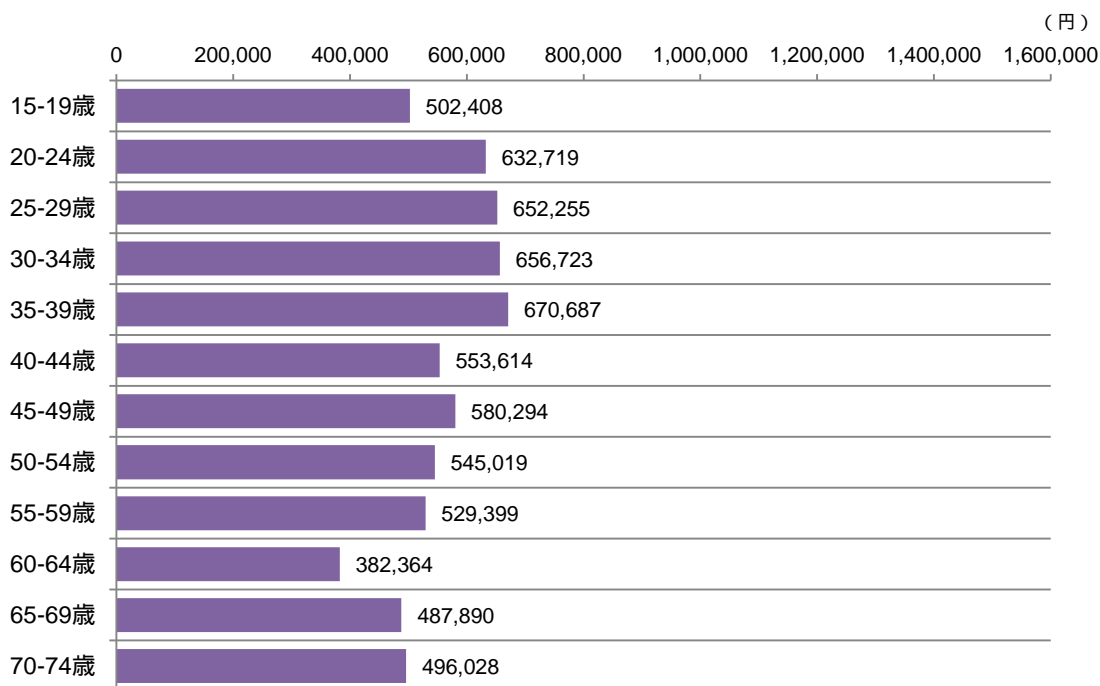
	区分	推計1入院当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	563,447
	男性	551,792
	女性	591,675

(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費

年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計1入院当たり医療費をみると、35-39歳:67万687円が最も高く、次いで、30-34歳:65万6,723円、25-29歳:65万2,255円となっている。

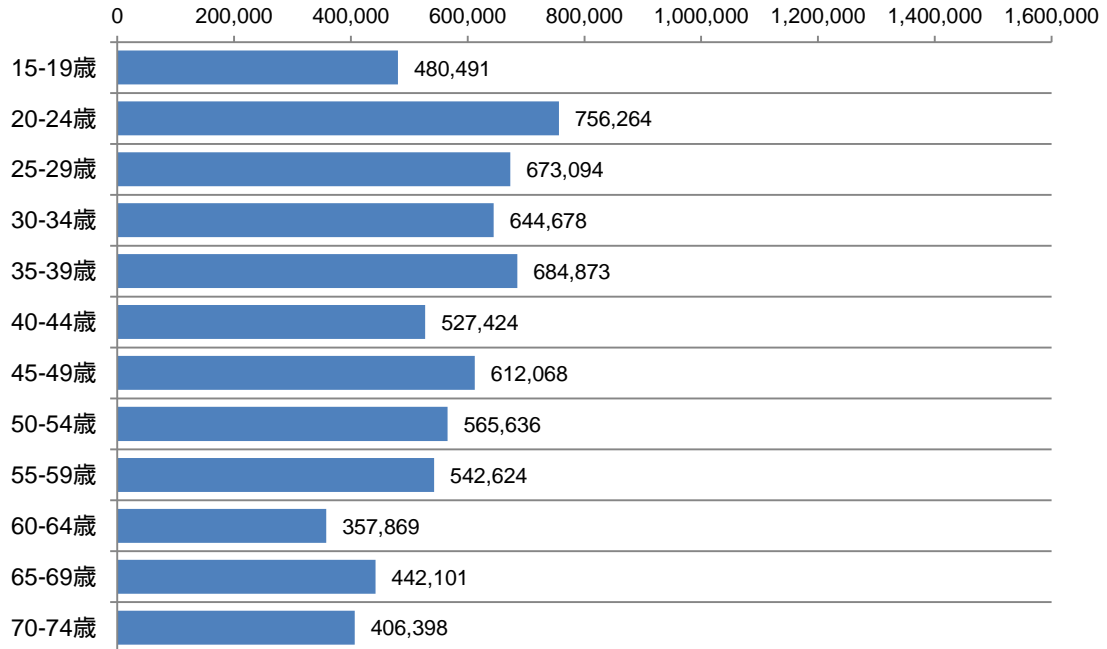
男女別にみると(p.13)、男性では、20-24歳、35-39歳、25-29歳の順に高く、女性では、70-74歳、65-69歳、30-34歳の順に高い。

医科入院：推計1入院当たり医療費  
被保険者【男女計】



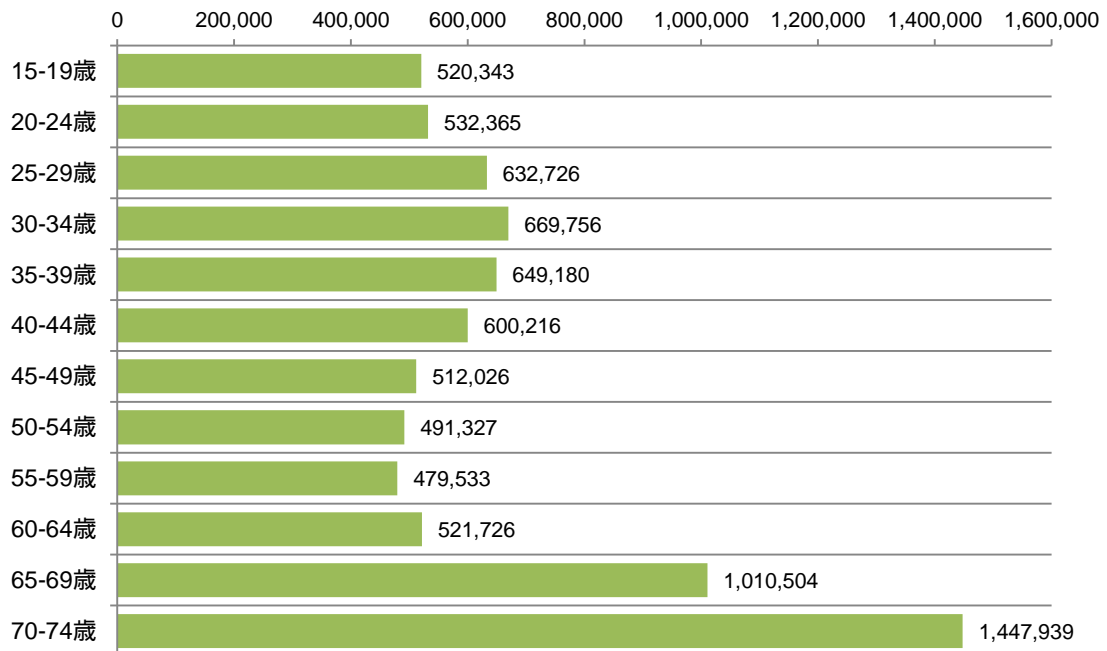
### 被保険者【男性】

(円)



### 被保険者【女性】

(円)



( 5 ) 推計平均在院日数

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計平均在院日数をみると、合計:60.2 日に対して、男性:63.9 日、女性:52.2 日となっており、女性に比べ男性のほうが長い。

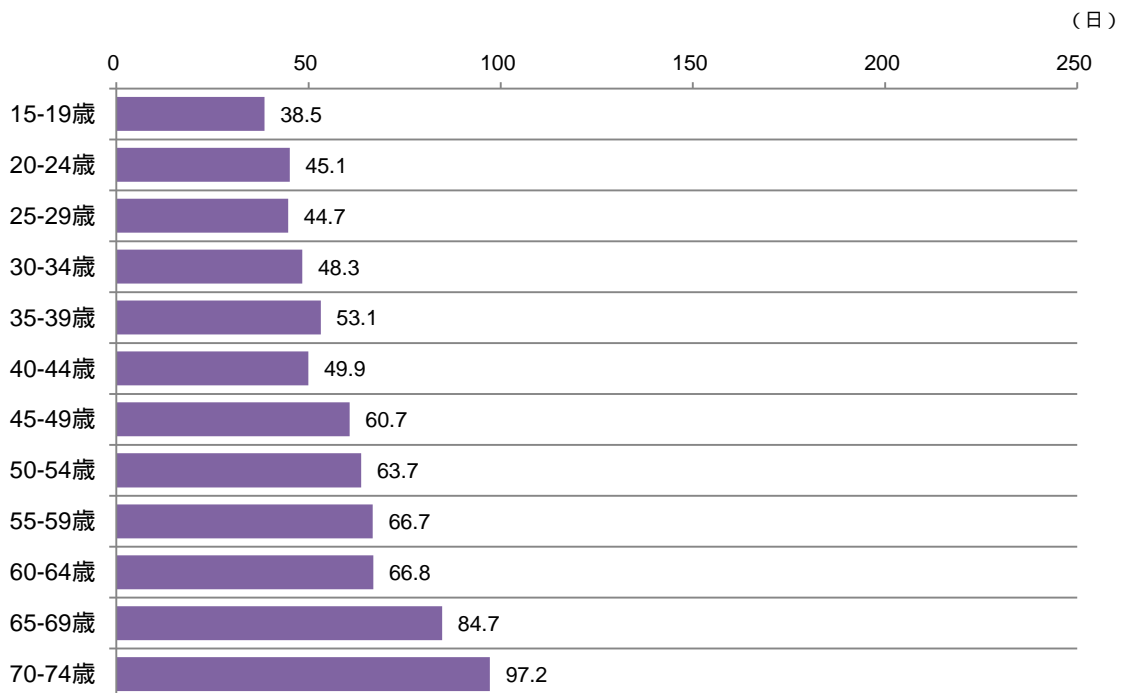
	区分	推計平均在院日数(日)
被 保 険 者	合計	60.2
	男性	63.9
	女性	52.2

( 6 ) 年齢階層別にみた推計平均在院日数

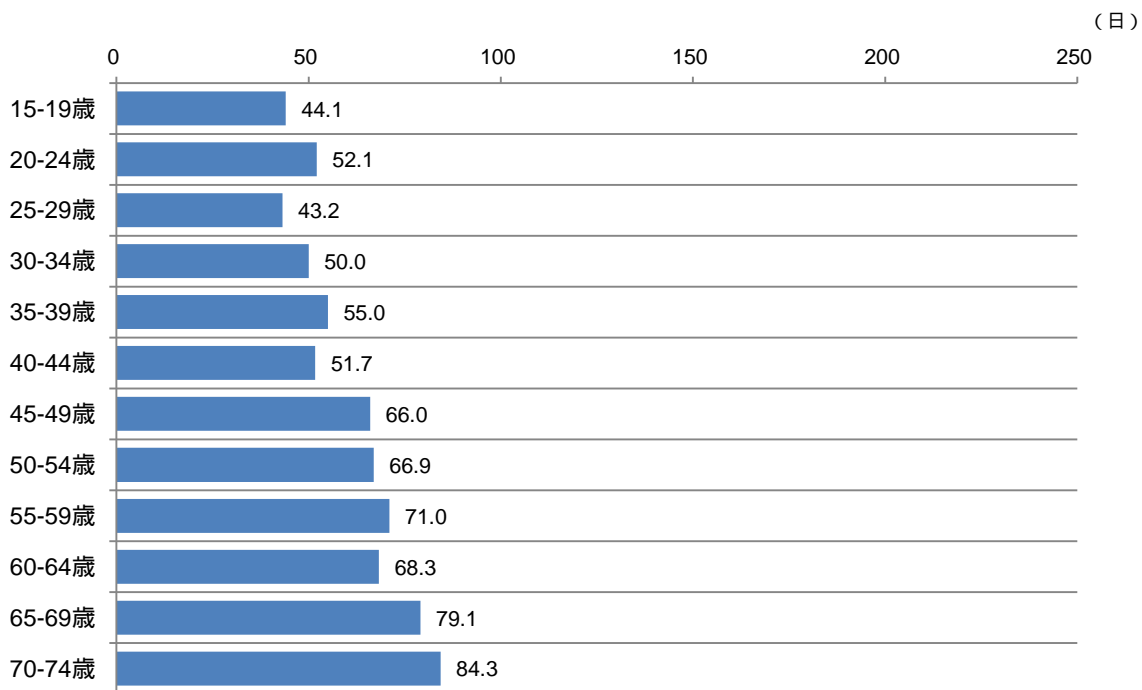
年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計平均在院日数をみると、70-74 歳:97.2 日が最も長く、次いで、65-69 歳:84.7 日、60-64 歳 66.8 日となっている。

男女別にみると(p.15)、男性では、70-74 歳、65-69 歳、55-59 歳の順に長く、女性では、70-74 歳、65-69 歳、60-64 歳の順に長い。

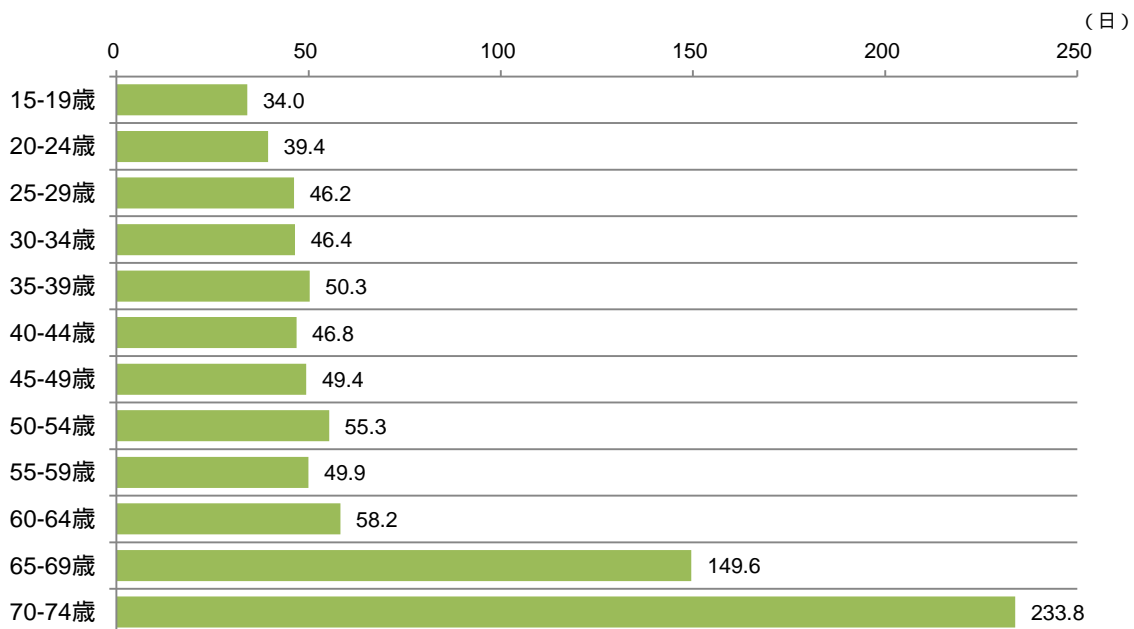
年齢階層別推計平均在院日数  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



(7) 千人当たり推計新規入院件数

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、合計:0.37 件に対して、男性:0.39 件、女性:0.34 件となっており、男性のほうがやや多い。

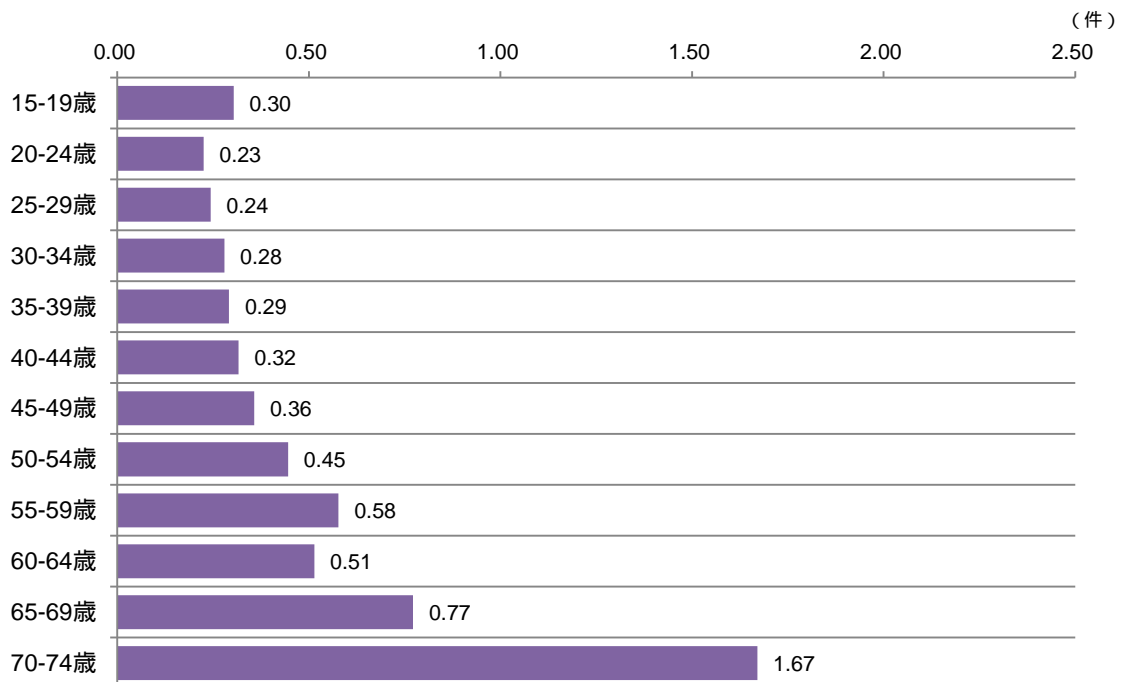
	区分	千人当たり推計新規入院件数(件)
被 保 険 者	合計	0.37
	男性	0.39
	女性	0.34

(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数

年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、70-74 歳:1.67 件が最も多く、次いで、65-69 歳:0.77 件、55-59 歳:0.58 件となっている。

男女別にみると(p.17)、男性では、70-74 歳、65-69 歳、55-59 歳の順に多く、女性では、70-74 歳、15-19 歳、55-59 歳の順に多い。

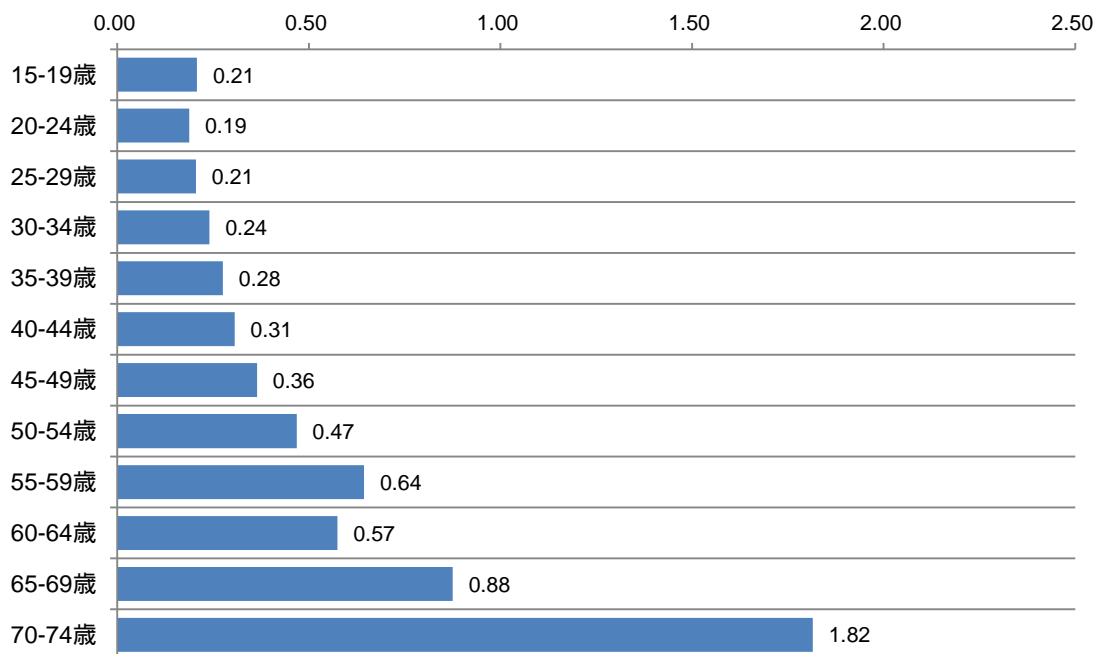
年齢階層別千人当たり推計新規入院件数  
被保険者【男女計】





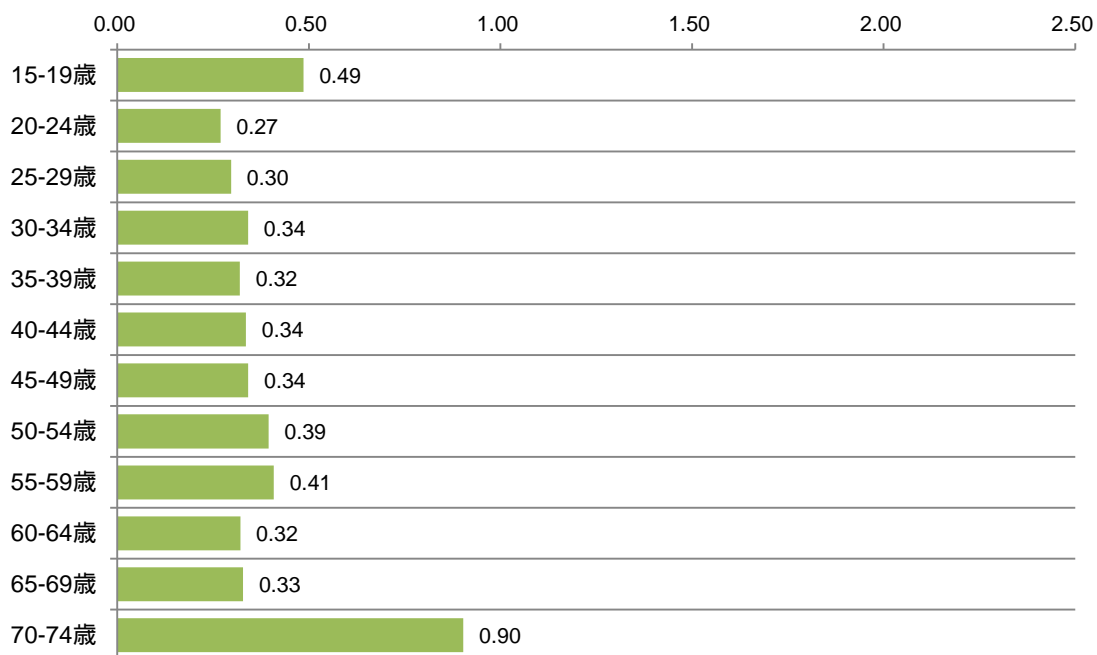
### 被保険者【男性】

(件)



### 被保険者【女性】

(件)



・気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）

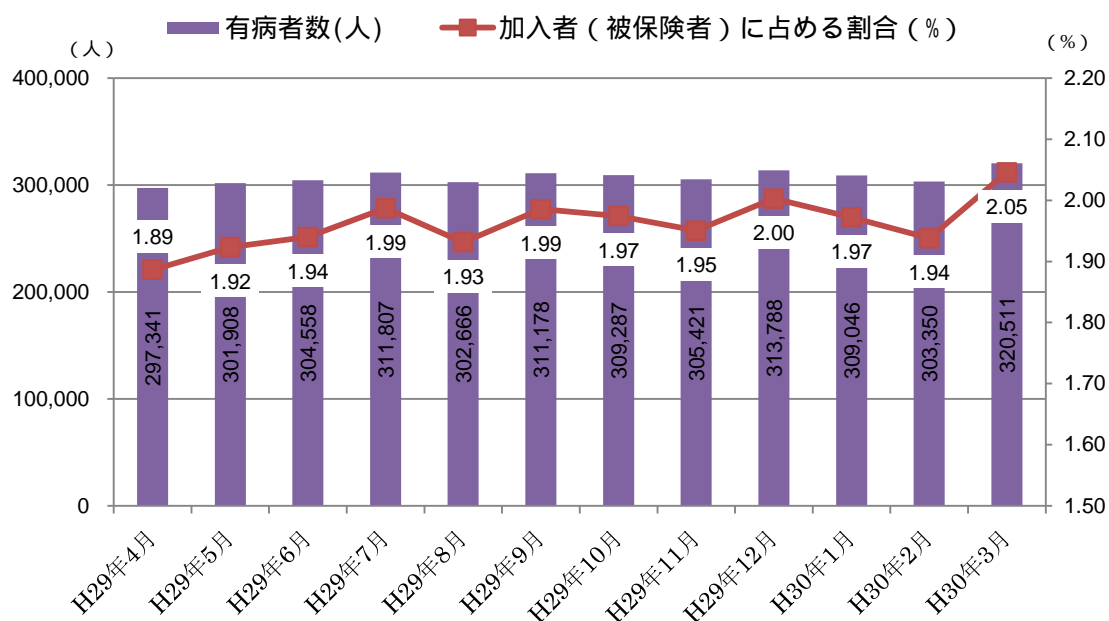
1. 医科入院外

(1) 有病者数の動向

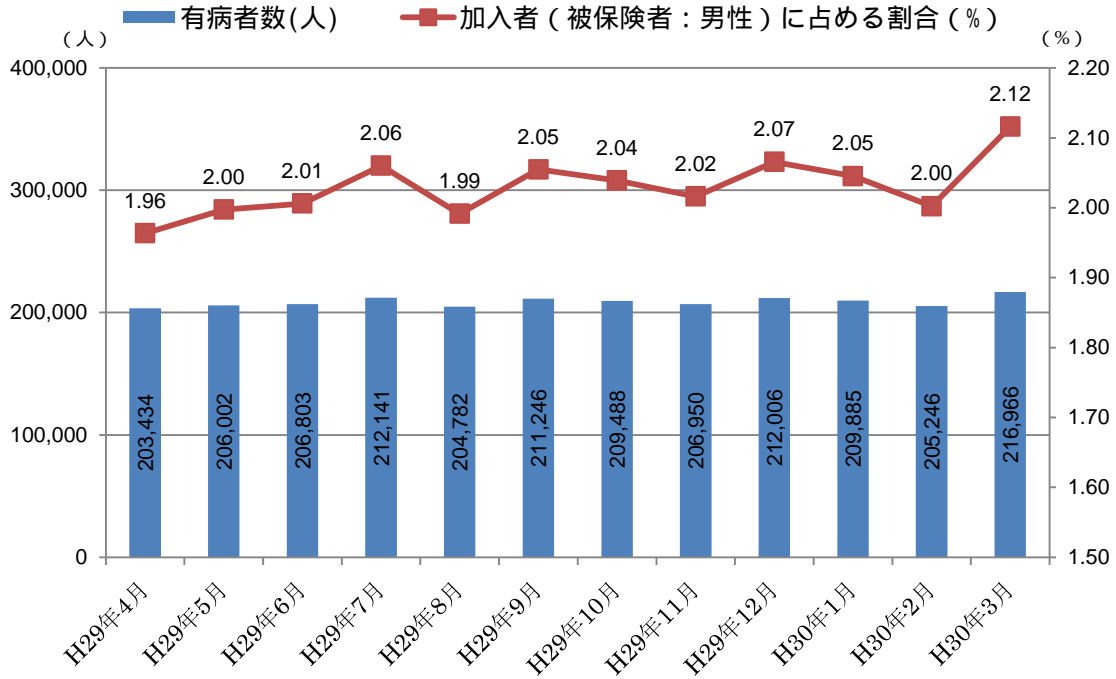
「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」の医科入院外の有病者の割合は平均 1.96%となっており、男女別にみると、男性:2.03%、女性:1.83%と、男性の割合が高い。月別推移をみると、1.89%～2.05%で推移しており、7月、9月、12月、3月に増加する傾向がみられる。また、男女別(p.19)にみても同様の傾向がみられる。

被保険者に占める有病者の割合(年間平均)		1.96%
	男性	2.03%
	女性	1.83%

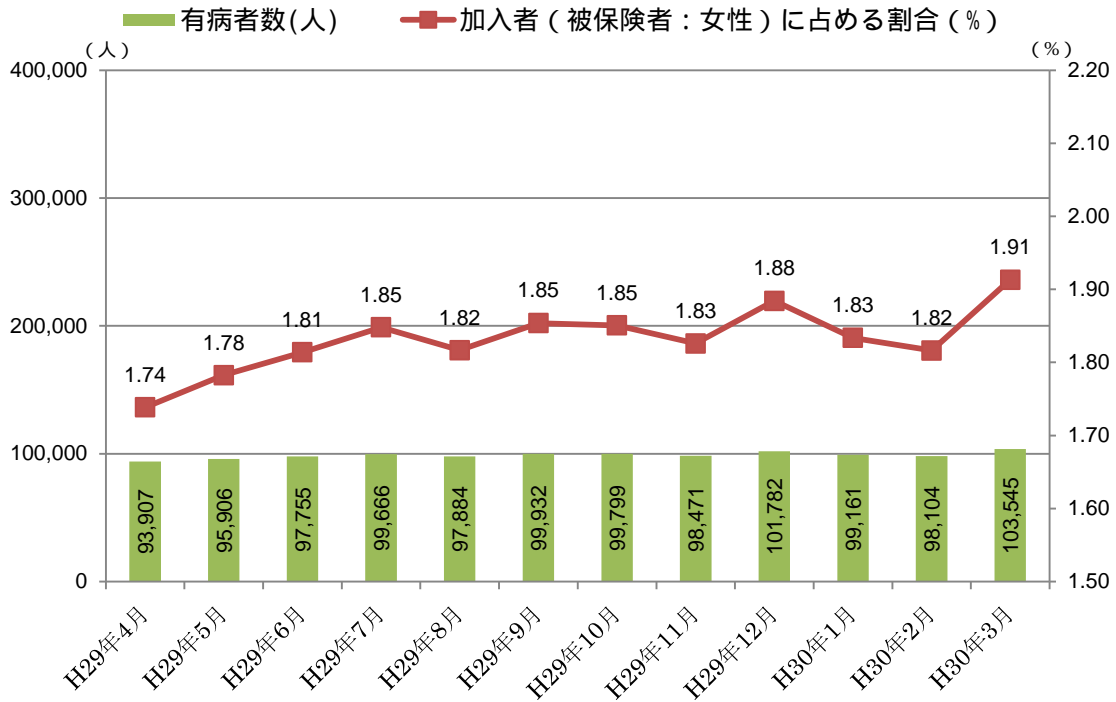
医科入院外：有病者数の月別推移  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



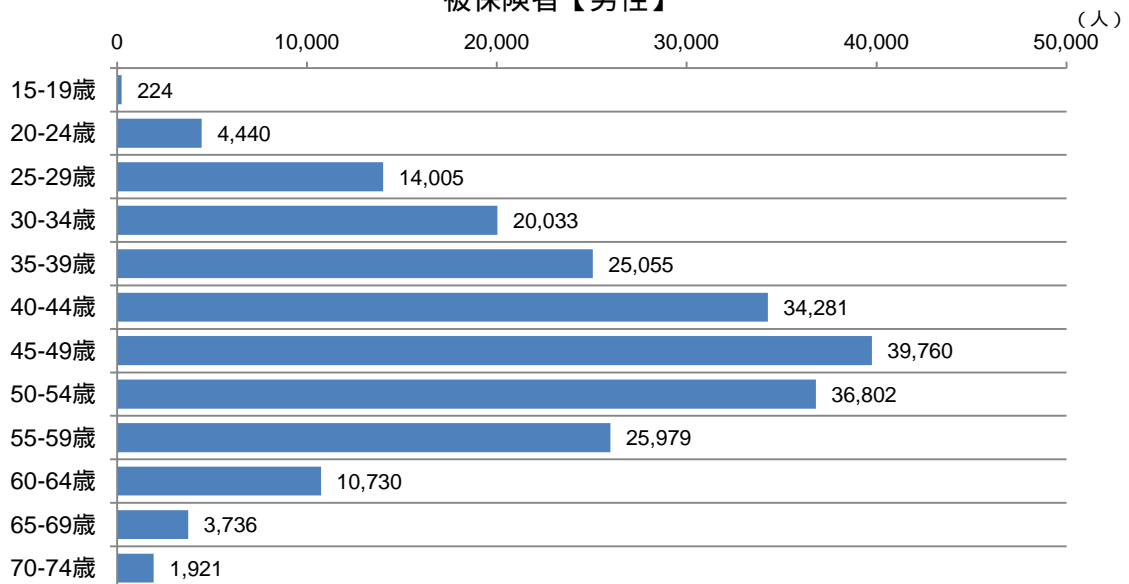
(2) 年齢階層別にみた有病者数(平成30年3月)及び構成割合

有病者数の最も多い平成30年3月について、年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院外における有病者数をみると、男性では、45-49歳が最も多く、次いで50-54歳、40-44歳の順となっており、構成割合をみると(p.21)、40~54歳で全体の約5割を占めている。

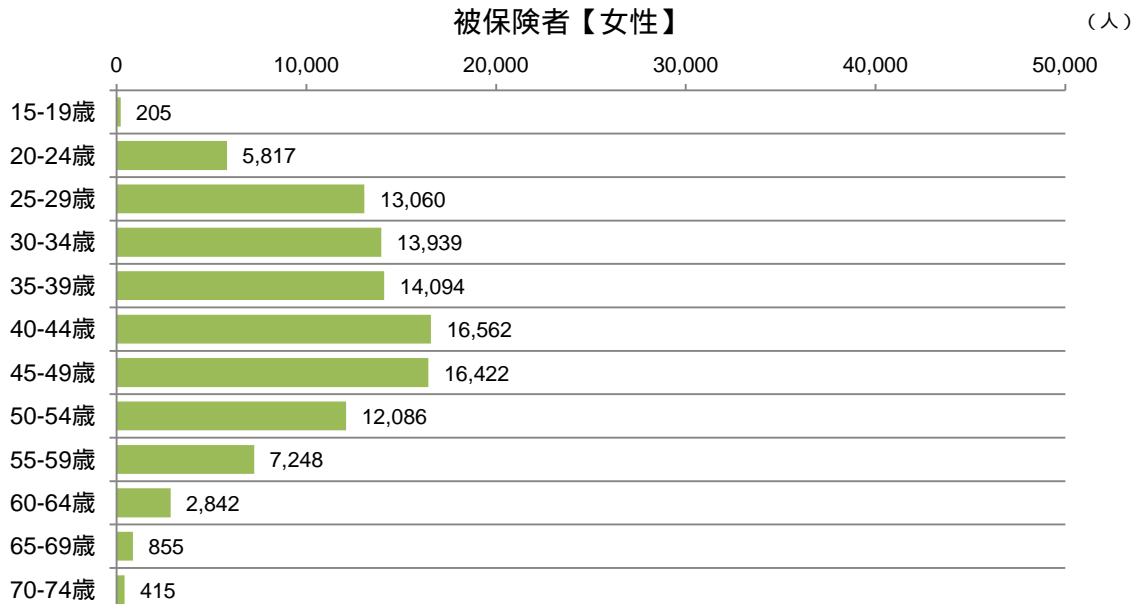
また、女性では、40-44歳が最も多く、次いで、45-49歳、35-39歳となっており、構成割合をみると(p.21)、35~49歳で全体の約5割を占めている。

医科入院外：有病者数(平成30年3月)

被保険者【男性】

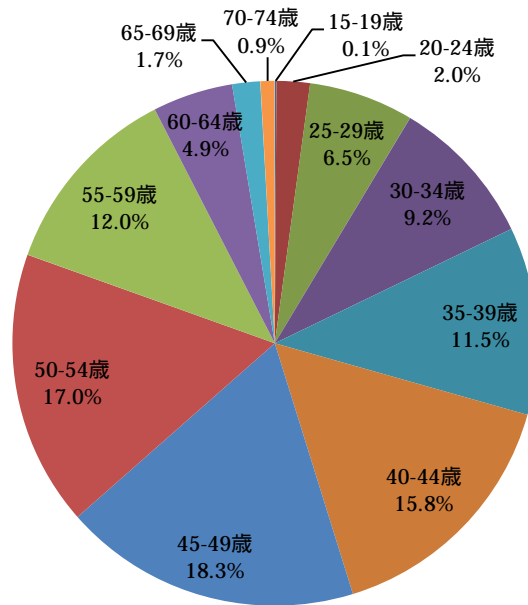


被保険者【女性】

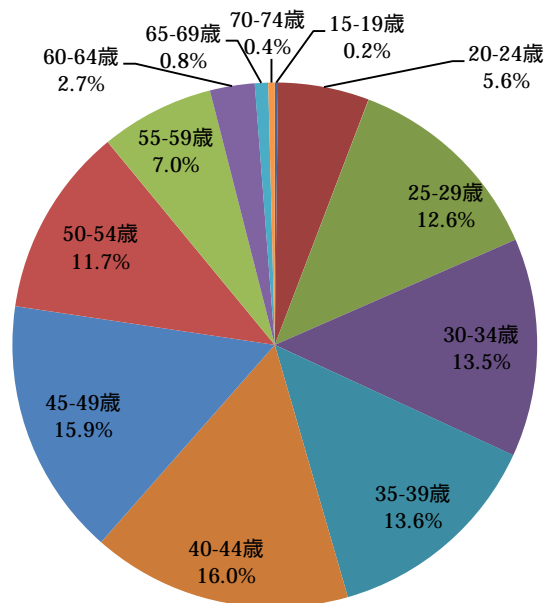


医科入院外：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



( 3 ) 1人当たり医療費及び医療費 3 要素

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院外における1人当たり医療費は、合計：2,883 円、男性：3,100 円、女性：2,470 円となっており、男性のほうが高くなっている。男性の1人当たり医療費が高い要因を医療費 3 要素からみてみると、女性に比べ、受診率が高い、1日当たり医療費が高いことが挙げられる。

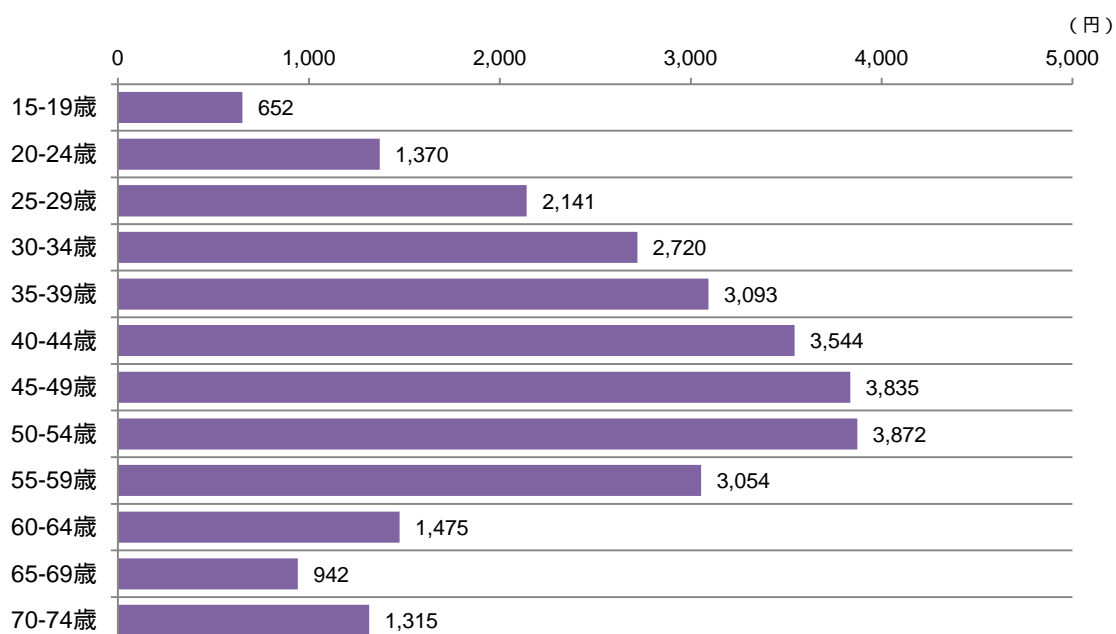
	区分	1人当たり 医療費(円)	受診率 (千人当たり)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
被 保 険 者	合計	2,883	239.5	1.5	7,857
	男性	3,100	248.1	1.5	8,114
	女性	2,470	223.2	1.5	7,305

( 4 ) 年齢階層別にみた1人当たり医療費

年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院外の1人当たり医療費をみると、50-54歳：3,872円が最も高く、次いで、45-49歳：3,835円、40-44歳：3,544円となっている。

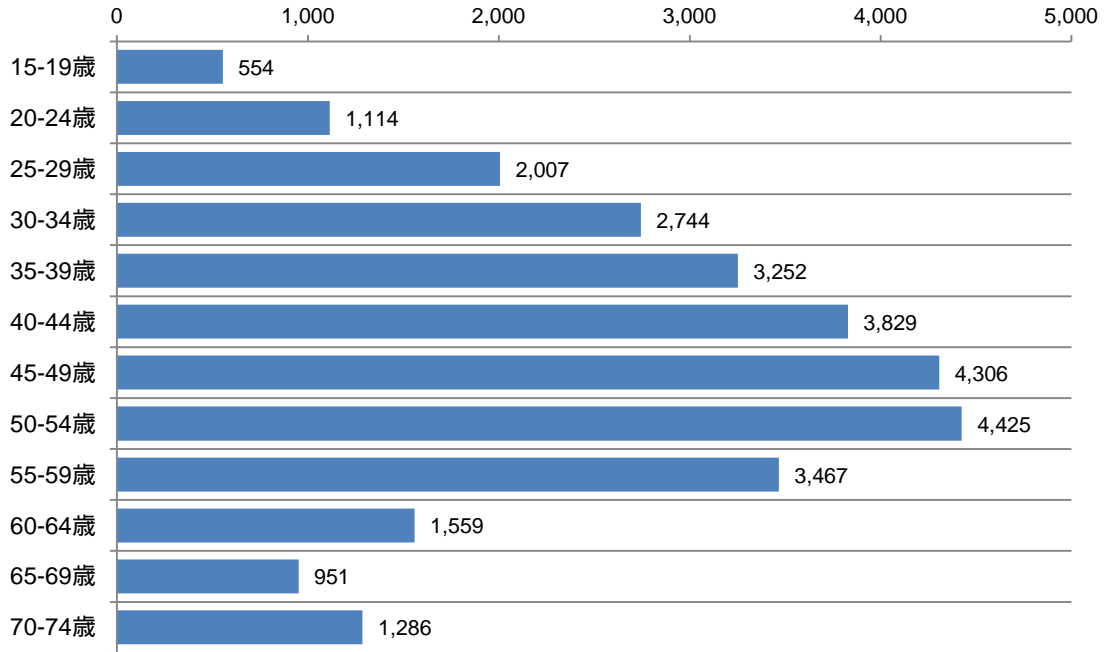
男女別にみると(p.23)、男性では50-54歳、45-49歳、40-44歳の順に高く、女性では40-44歳、45-49歳、35-39歳の順に高くなっている。

医科入院外：年齢階層別1人当たり医療費  
被保険者【男女計】



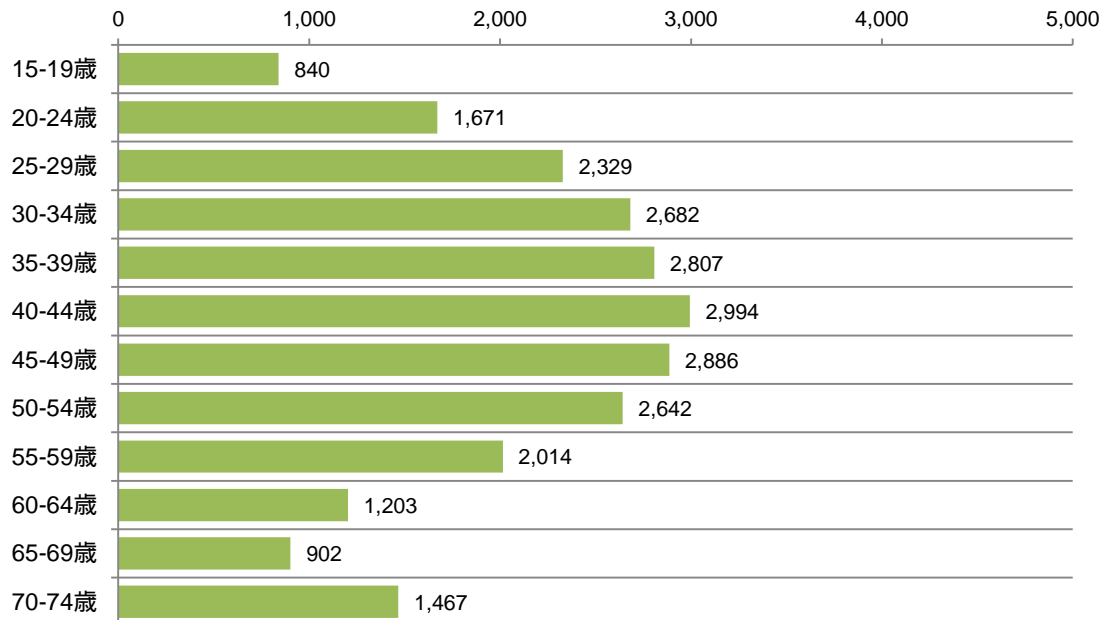
### 被保険者【男性】

(円)



### 被保険者【女性】

(円)



## 2. 医科入院

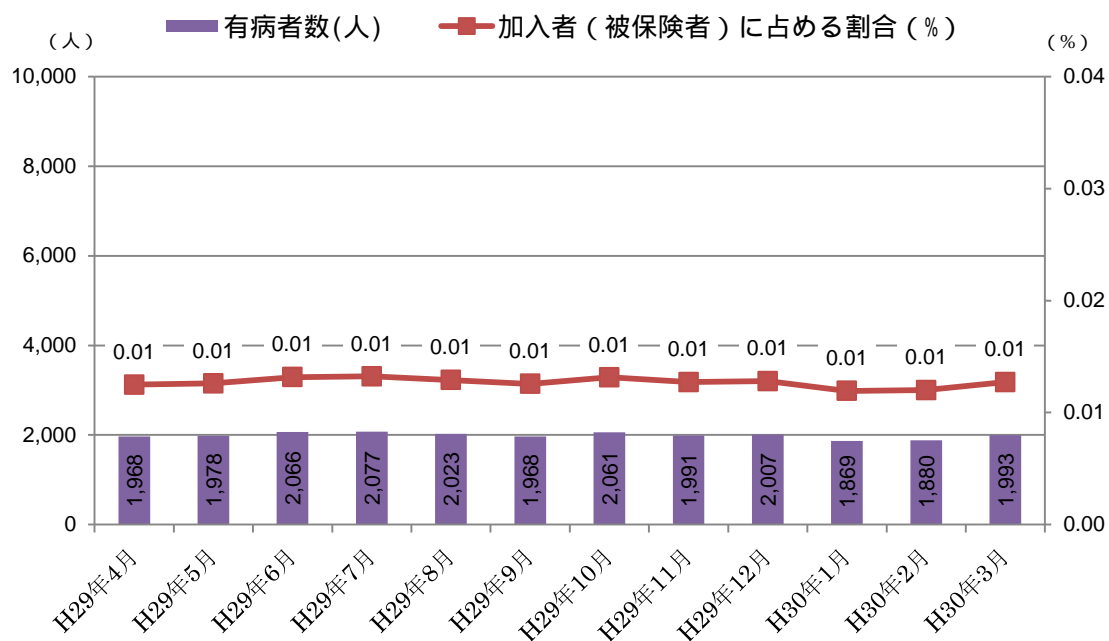
### (1) 有病者数の動向

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院における有病者の割合は平均 0.01%となっており、男女別にみると、男性・女性ともに 0.01%となっている。

月別推移をみると、どの月においても概ね 0.01%で推移している。

被保険者に占める有病者の割合(年間平均)		0.01%
	男性	0.01%
	女性	0.01%

医科入院：有病者数の月別推移  
被保険者【男女計】



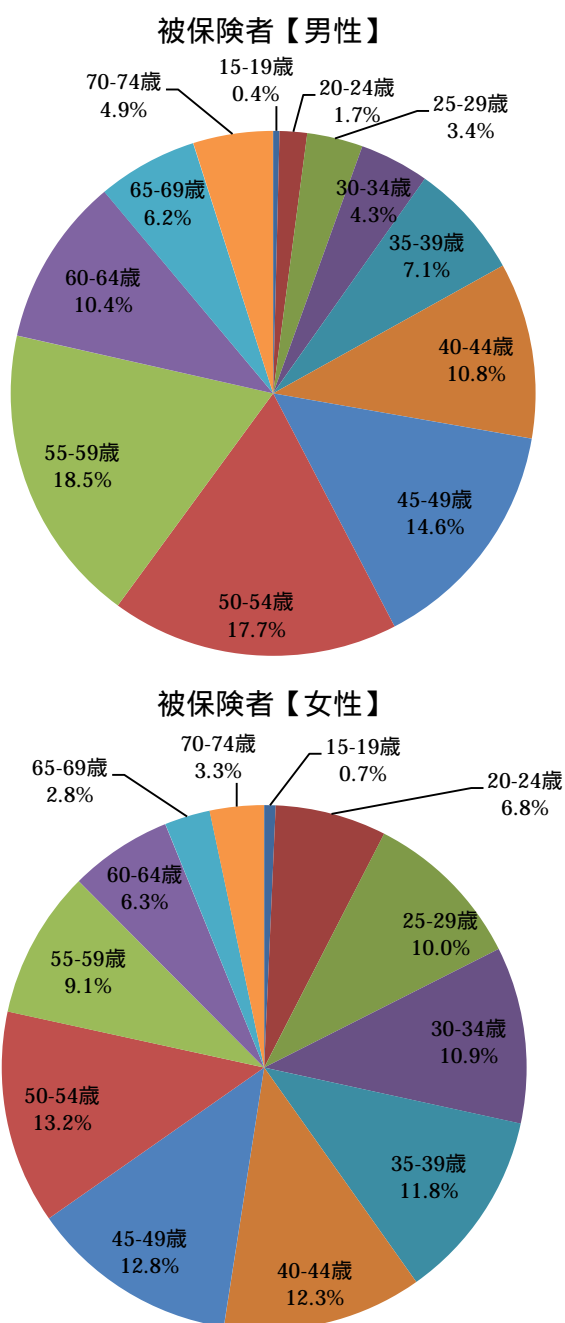


## (2) 年齢階層別にみた有病者構成割合

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院における有病者の年齢階層別構成割合をみると、男性では、55-59歳:18.5%が最も高く、次いで、50-54歳:17.7%、45-49歳:14.6%となっており、45~59歳で全体の約5割を占めている。

女性では、50-54歳:13.2%が最も高く、次いで、45-49歳:12.8%、40-44歳:12.3%となっており、40~54歳で全体の約4割を占めている。

医科入院：年齢階層別有病者の構成割合



(3) 推計1入院当たり医療費

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計1入院当たり医療費は、合計:28万9,136円に対し、男性:29万7,328円、女性:26万8,999円となっており、男性のほうが高くなっている。

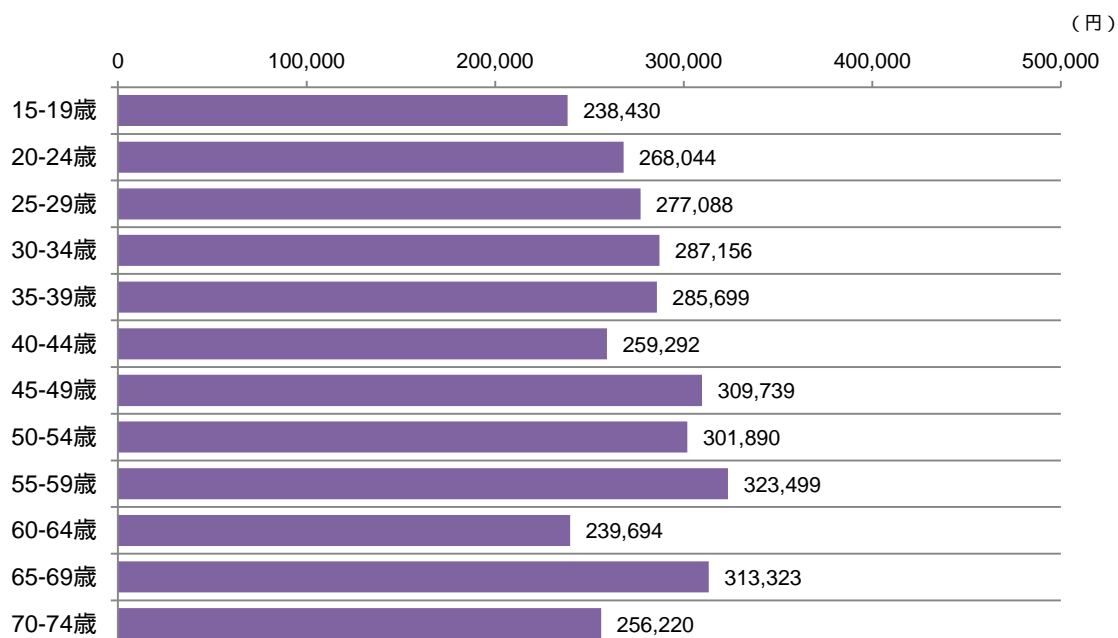
	区分	推計1入院当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	289,136
	男性	297,328
	女性	268,999

(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費

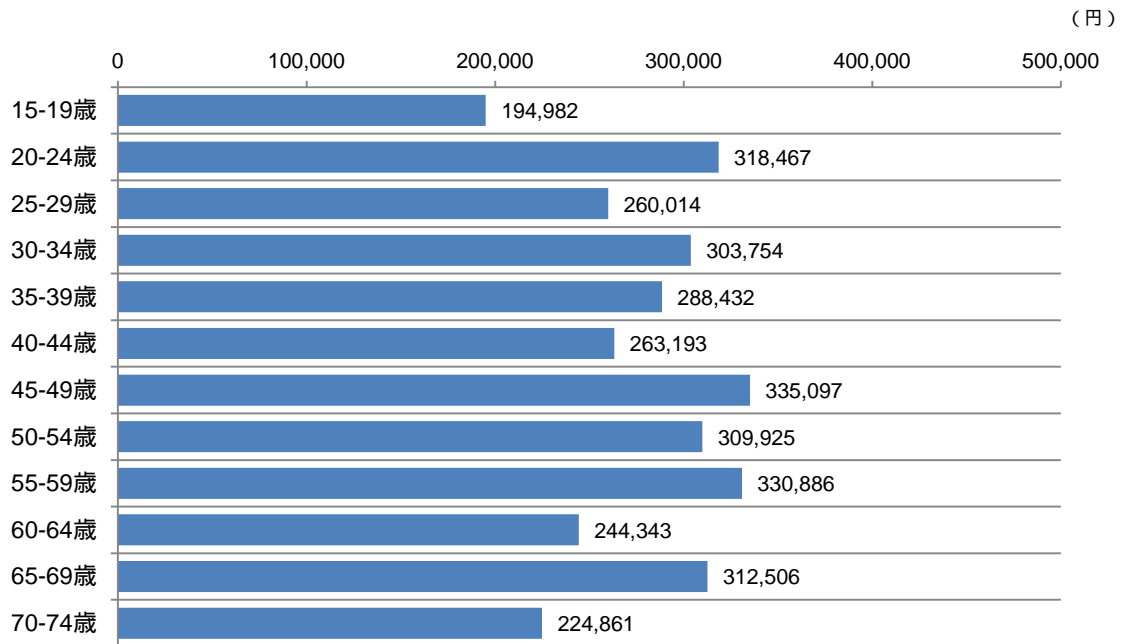
年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計1入院当たり医療費をみると、55-59歳:32万3,499円が最も高く、次いで、65-69歳:31万3,323円、45-49歳:30万9,739円となっている。

男女別にみると(p.27)、男性では45-49歳、55-59歳、20-24歳の順に高く、女性では70-74歳、65-69歳、15-19歳の順に高くなっている。

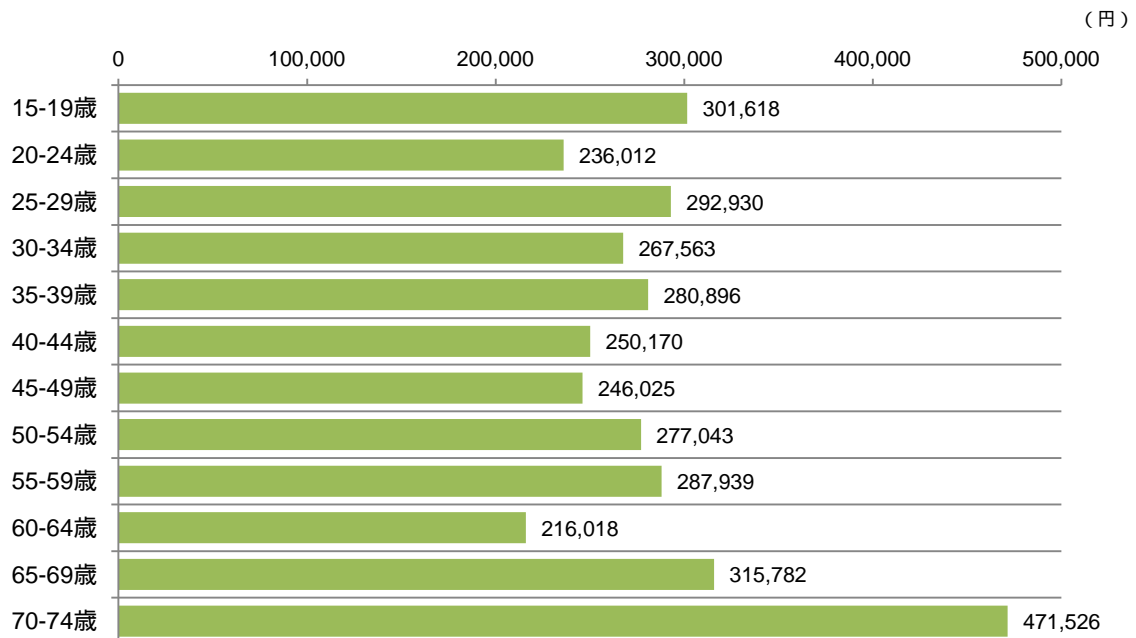
医科入院：推計1入院当たり医療費  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



(5) 推計平均在院日数

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計平均在院日数をみると、合計:42.7日に対して、男性:45.1日、女性:36.8日となっており、男性の方が長い。

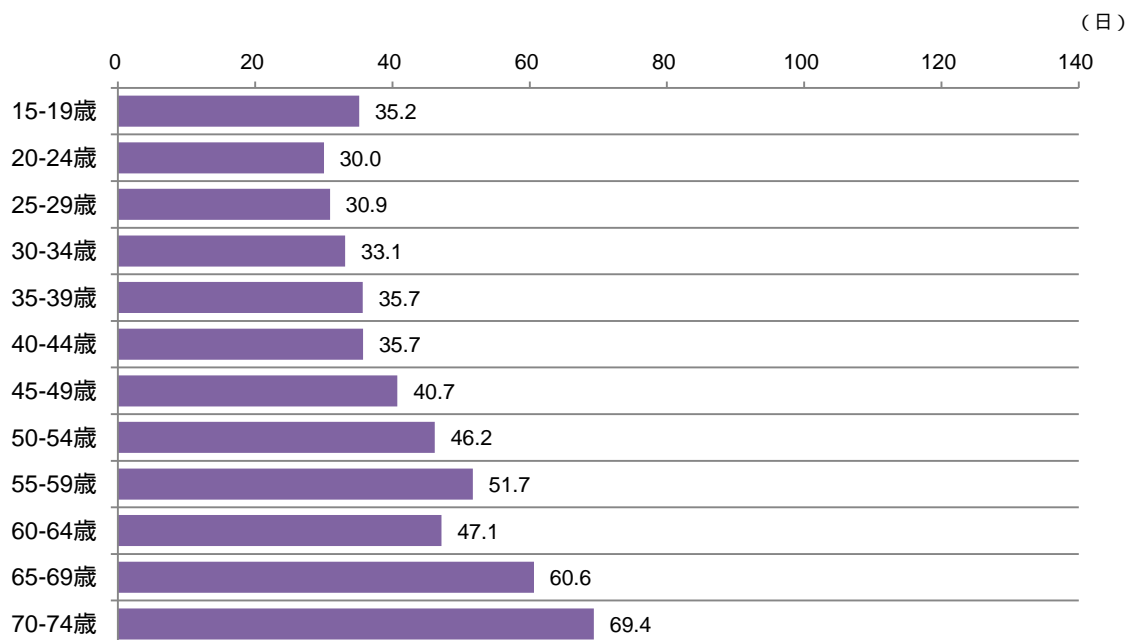
	区分	推計平均在院日数(日)
被 保 険 者	合計	42.7
	男性	45.1
	女性	36.8

(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数

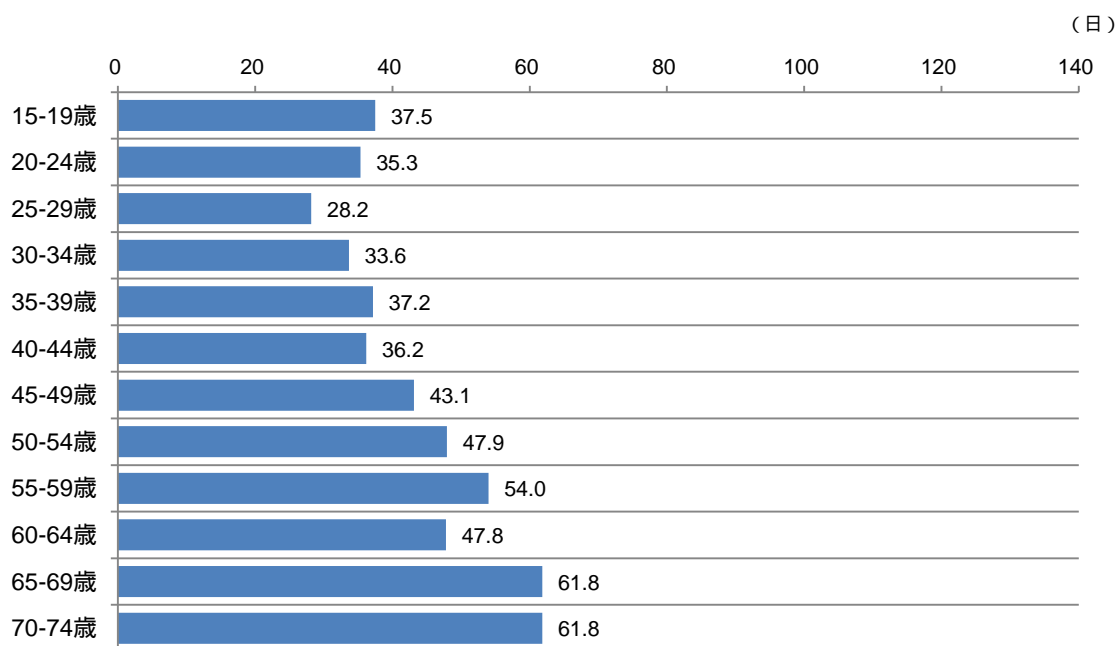
年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計平均在院日数をみると、70-74歳:69.4日が最も長く、次いで、65-69歳:60.6日、55-59歳:51.7日となっている。

男女別にみると(p.29)、男性では65-69歳および70-74歳、55-59歳の順に長く、女性では70-74歳、65-69歳、60-64歳の順に長くなっている。

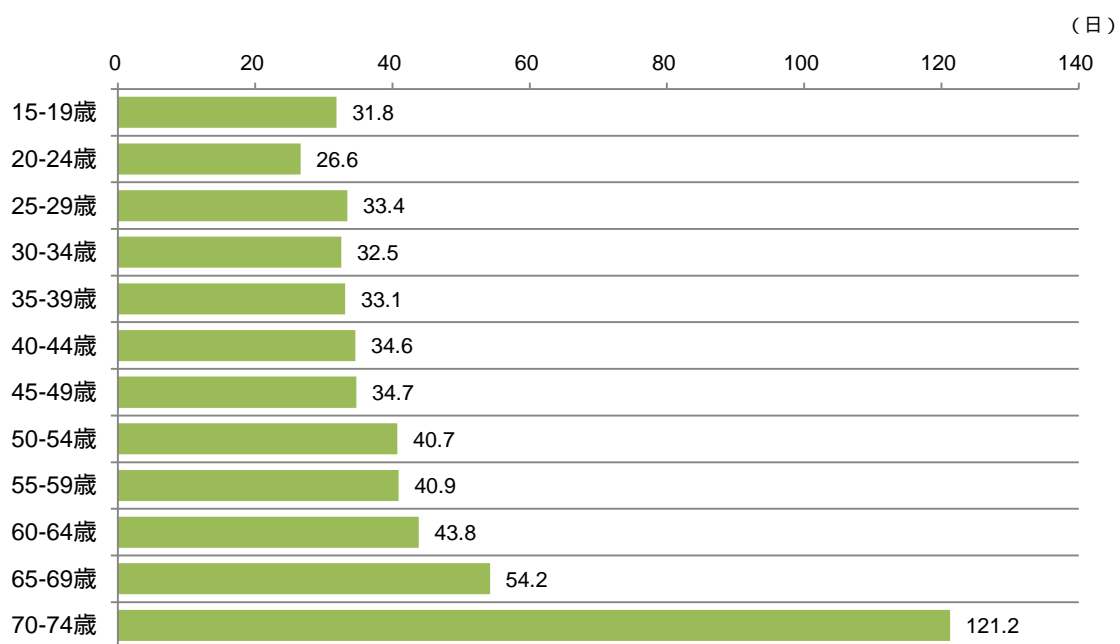
年齢階層別推計平均在院日数  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



( 7 ) 千人当たり推計新規入院件数

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の千人当たり推計新規入院件数をみると、合計：0.65 件に対して、男性：0.70 件、女性：0.55 件となっており、男性の方がやや多い。

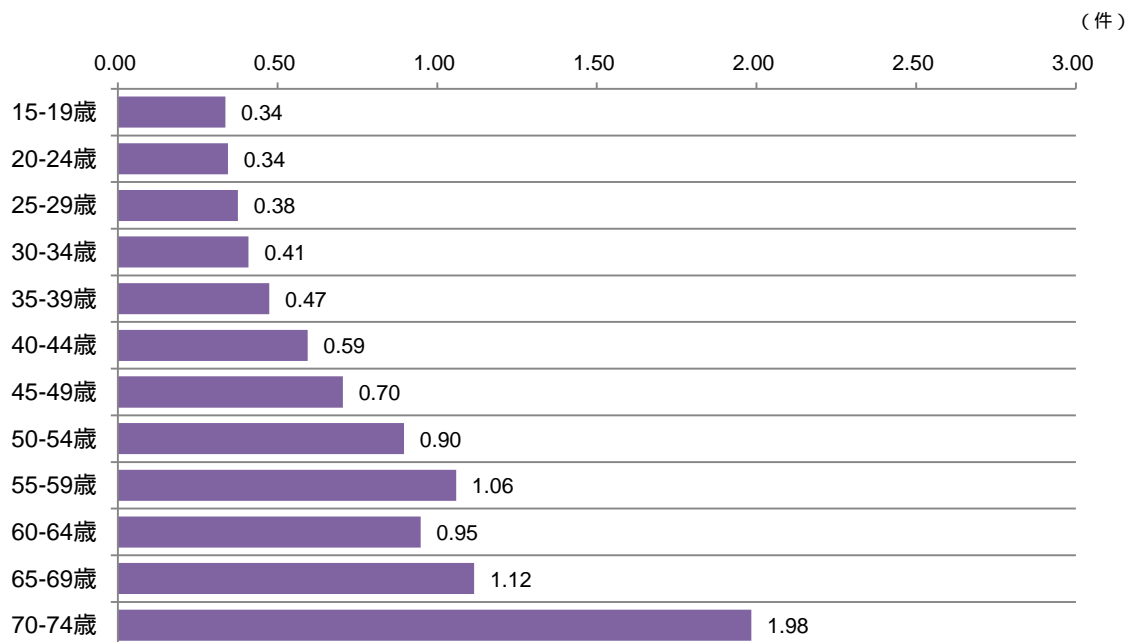
	区分	千人当たり推計新規入院件数(件)
被 保 険 者	合計	0.65
	男性	0.70
	女性	0.55

( 8 ) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数

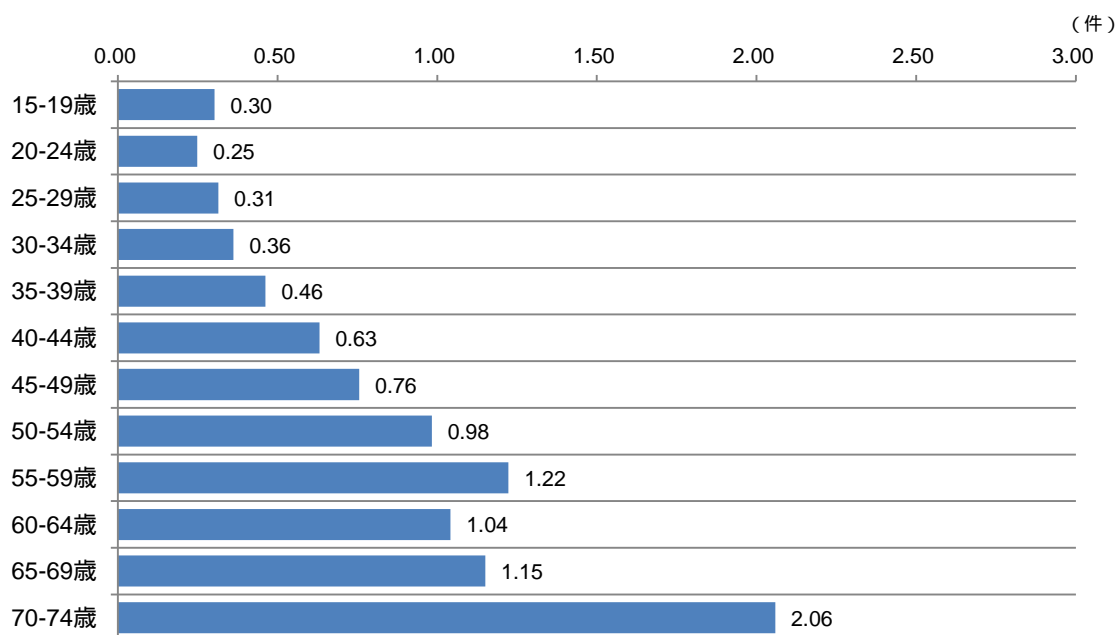
年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の千人当たり推計新規入院件数をみると、70-74 歳：1.98 件が最も多く、次いで、65-69 歳：1.12 件、55-59 歳：1.06 件となっている。

男女別にみると(p.31)、男性では 70-74 歳、55-59 歳、65-69 歳の順に多く、女性では 70-74 歳、65-69 歳、50-54 歳の順に多くなっている。

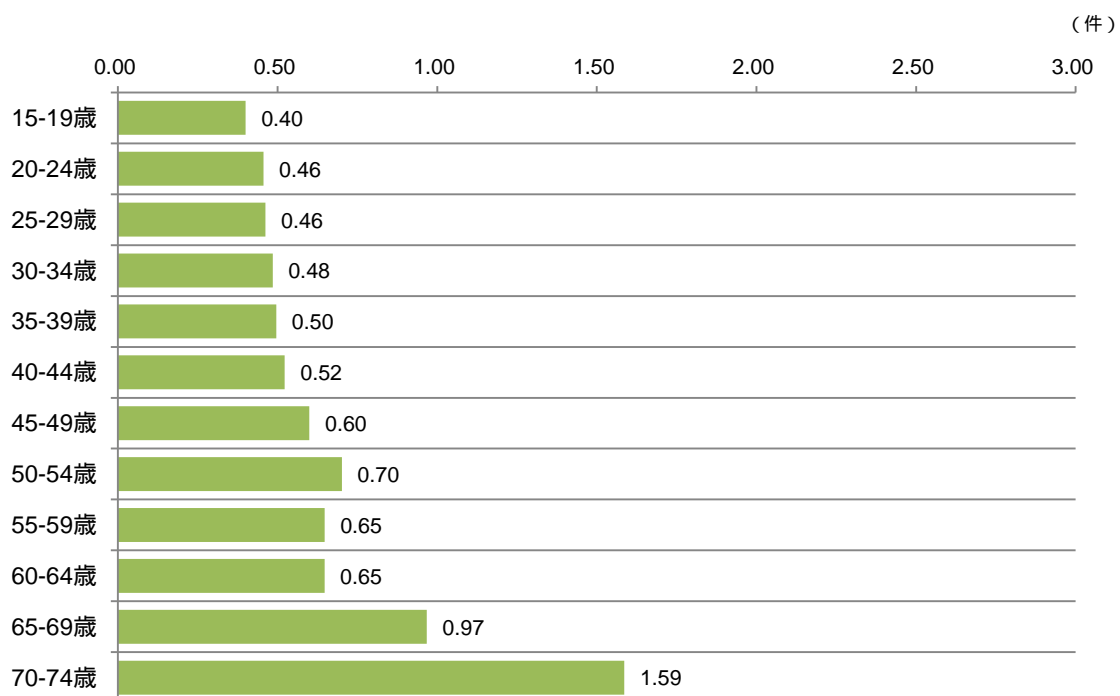
年齢階層別千人当たり推計新規入院件数  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



・神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

1. 医科入院外

(1) 有病者数の動向

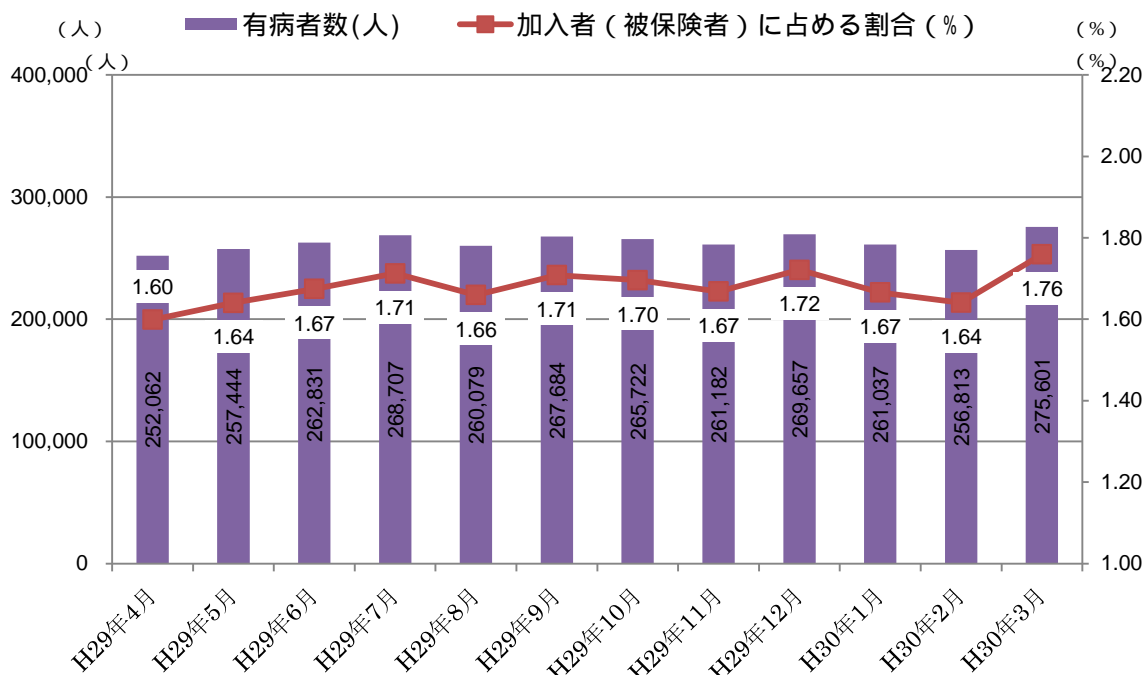
「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における有病者の割合は平均 1.68%となっており、男女別にみると、男性:1.59%、女性:1.84%と、女性の割合が高い。

月別の推移をみると、1.60%～1.76%で推移しており、7月、9月、12月、3月に増加する傾向がみられる。

男女別にみると(p.33)、男性・女性ともに7月、9月、12月、3月に増加する傾向がみられる。

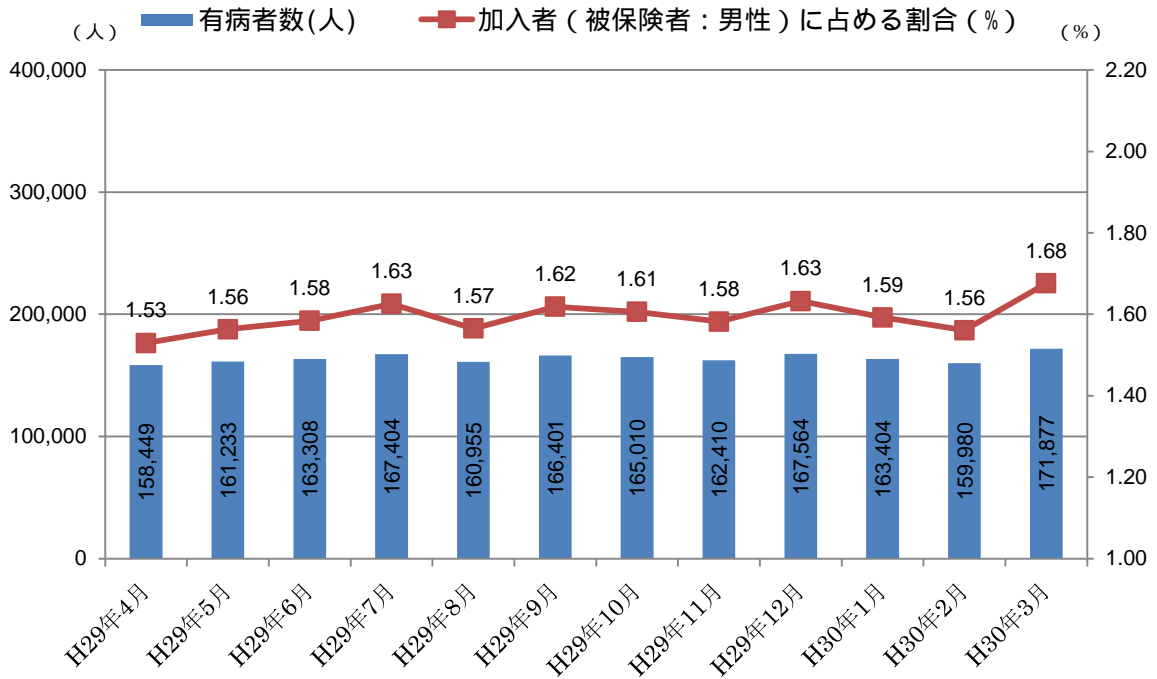
被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)	1.68%
男性	1.59%
女性	1.84%

医科入院外：有病者数の月次推移  
被保険者【男女計】

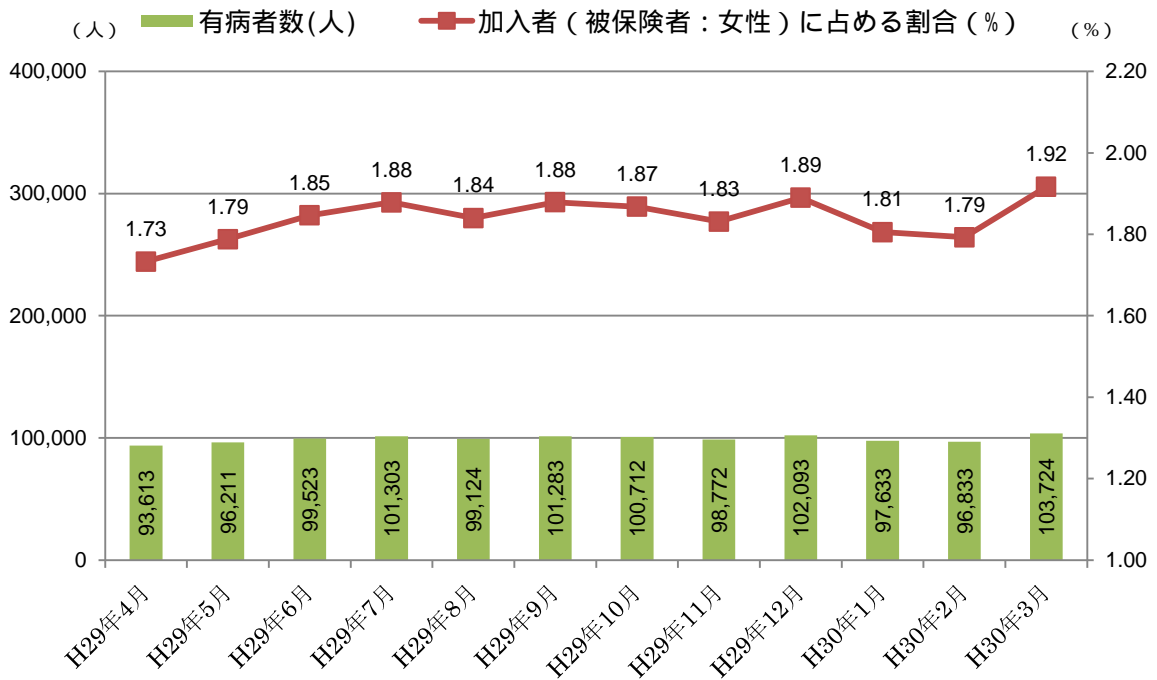




### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



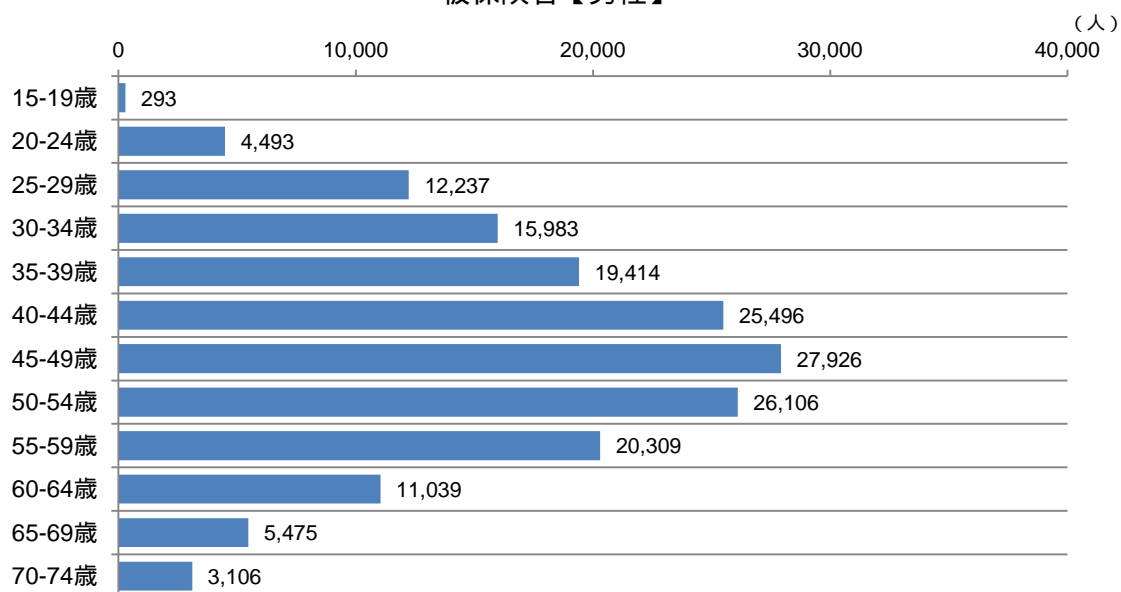
(2) 年齢階層別にみた有病者数(平成30年3月)及び構成割合

有病者数の最も多い平成30年3月について、年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における有病者数をみると、男性では、45-49歳が最も多く、次いで50-54歳、40-44歳の順となっており、構成割合をみると(p.35)、40～54歳で全体の約5割を占めている。

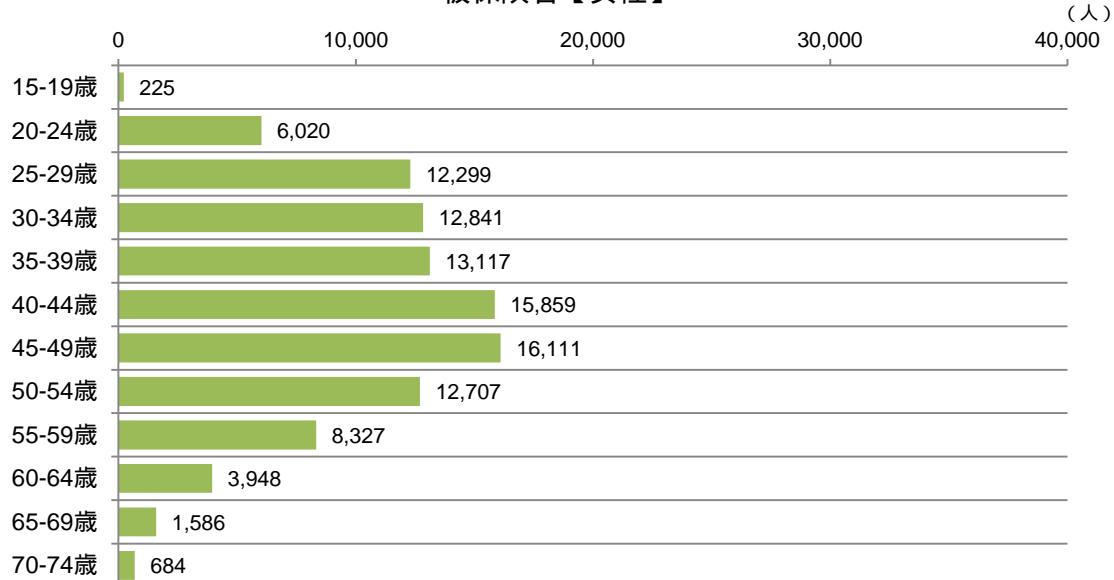
また、女性では、45-49歳が最も多く、次いで40-44歳、35-39歳となっており、構成割合をみると(p.35)、35～49歳で全体の約4割を占めており、男性に比べ年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院外：有病者数(平成30年3月)

被保険者【男性】

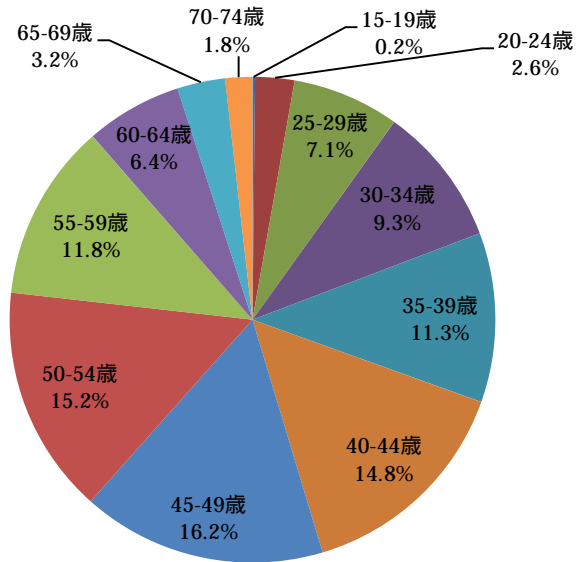


被保険者【女性】

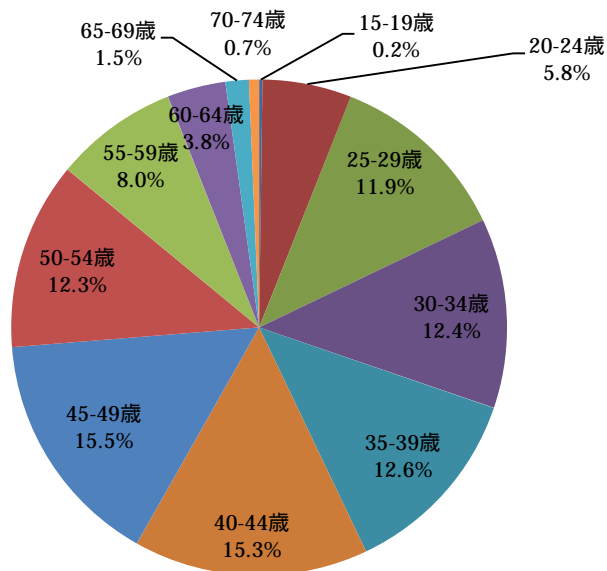


医科入院外：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(3) 1人あたり医療費及び医療費3要素

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における1人あたり医療費は、合計:617円、男性:563円、女性:719円となっており、女性のほうが高くなっている。

女性の1人あたり医療費が高い要因について医療費3要素をみると、男性に比べ、受診率が高く、1日あたり医療費が高いことが挙げられる。

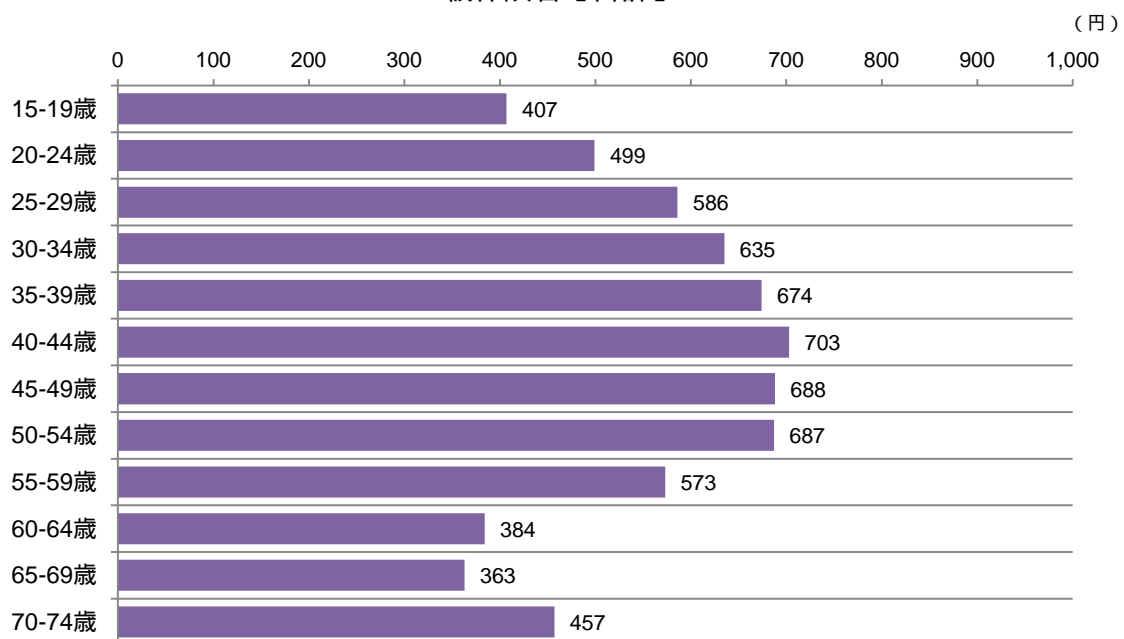
	区分	1人あたり医療費(円)	受診率(千人あたり)	1件あたり日数(日)	1日あたり医療費(円)
被保険者	合計	617	205.7	1.5	2,072
	男性	563	195.3	1.5	1,996
	女性	719	225.5	1.5	2,197

(4) 年齢階層別にみた1人あたり医療費

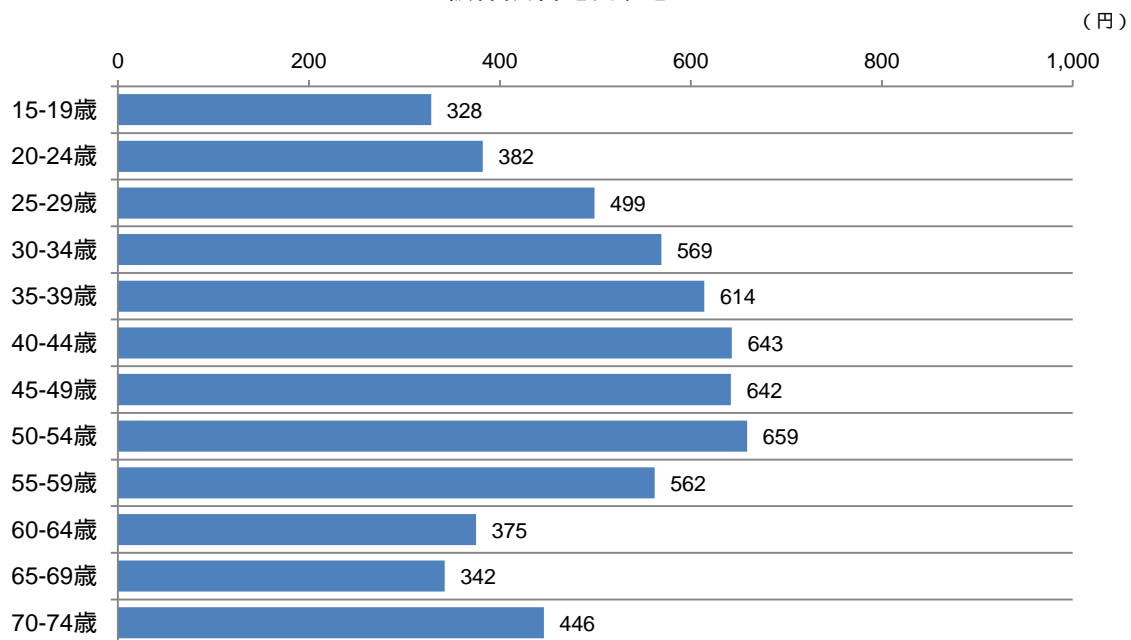
年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における1人あたり医療費をみると、40-44歳:703円が最も高く、次いで、45-49歳:688円、50-54歳:687円となっている。

男女別でみると(p.37)、男性では50-54歳、40-44歳、45-49歳の順に高く、女性では40-44歳、35-39歳、45-49歳と、男性に比べ、比較的若い年齢層で高い傾向が示されている。

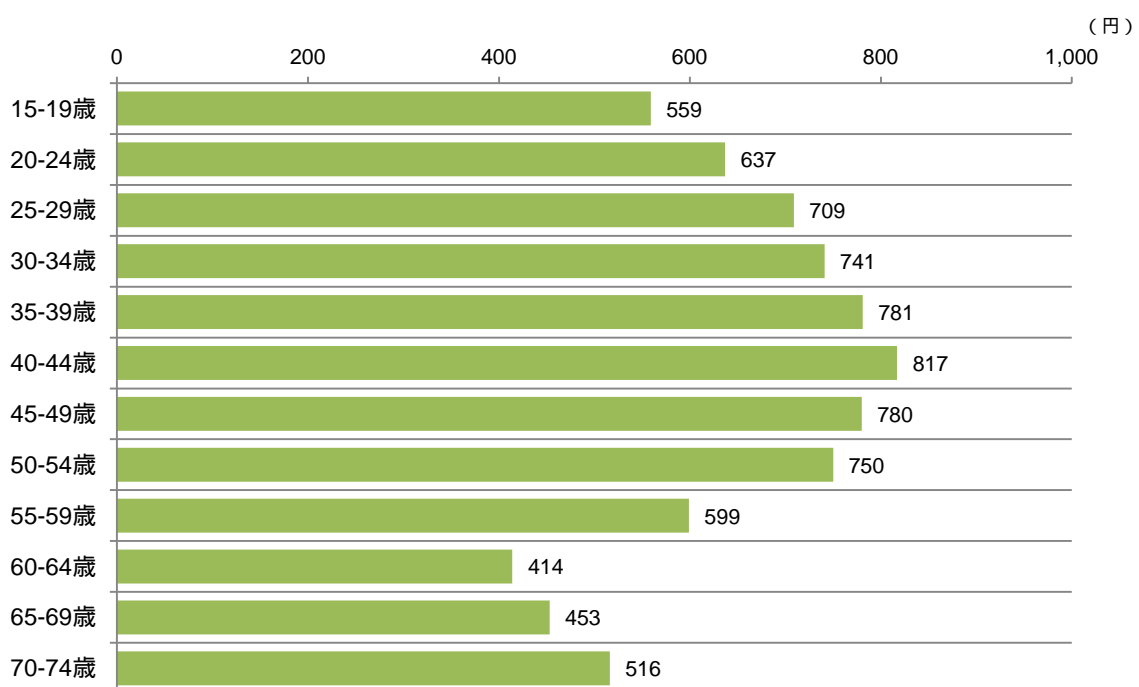
医科入院外：年齢階層別1人あたり医療費  
被保険者【合計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



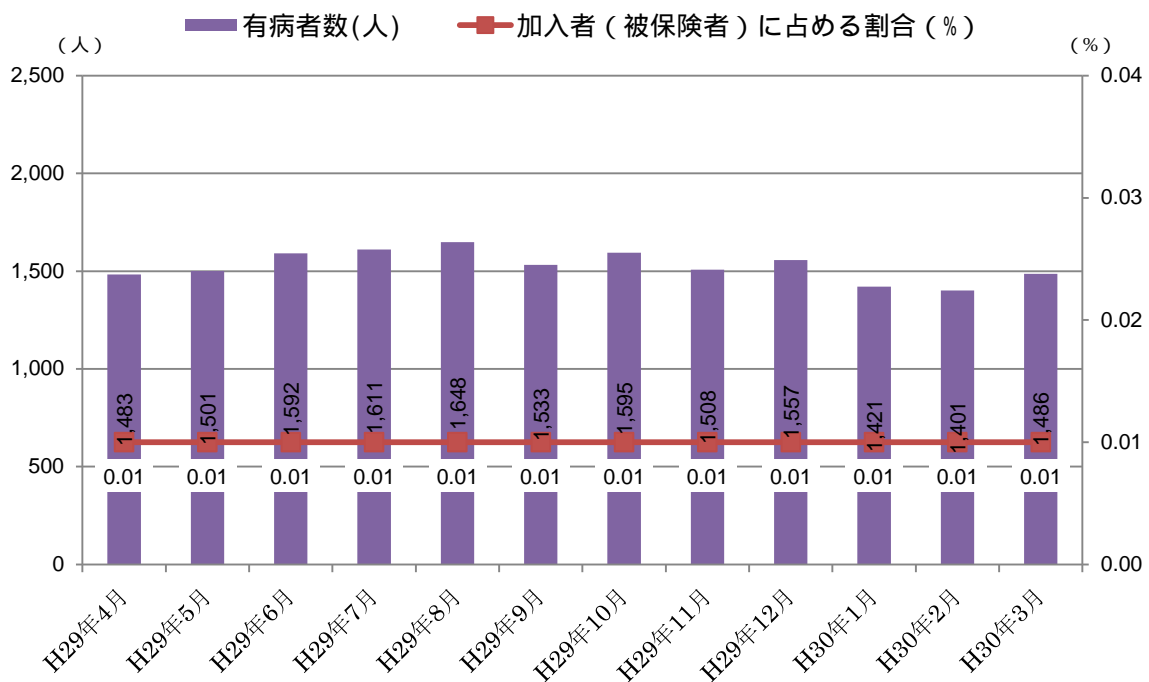
## 2. 医科入院

### (1) 有病者数の動向

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院における有病者数の割合は平均 0.01%となっており、男女別にみると男性・女性ともに 0.01%となっている。月別推移をみると、どの月において概ね 0.01%で推移している。

被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)		0.01%
	男性	0.01%
	女性	0.01%

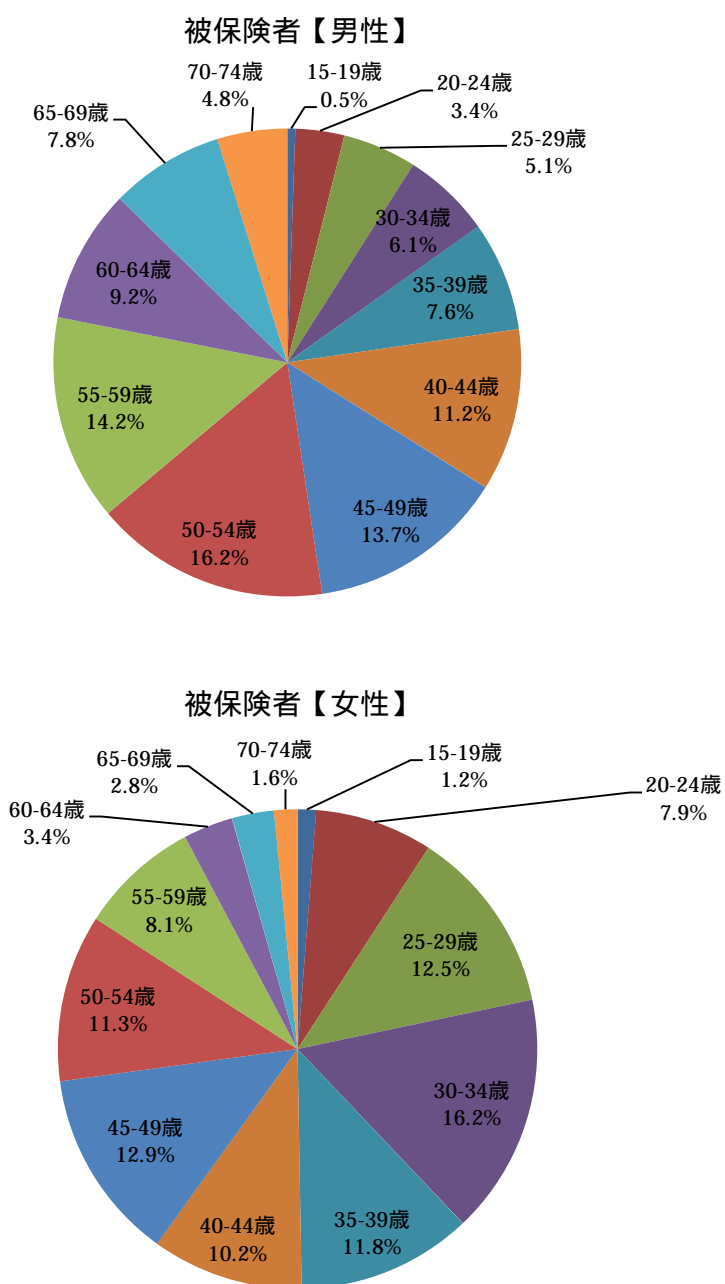
医科入院：有病者数の月別推移  
被保険者【男女計】



## (2) 年齢階層別にみた有病者構成割合

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院における有病者の年齢階層別構成割合をみると、男性では、50-54歳：16.2%が最も高く、次いで、55-59歳：14.2%、45-49歳：13.7%となっており、40～59歳で全体の6割近くを占めている。女性では、30-34歳：16.2%が最も高く、次いで、45-49歳：12.9%、25-29歳：12.5%となっており、30～49歳で全体の約5割を占め、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院：年齢階層別有病者の構成割合



(3) 推計1入院当たり医療費

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計1入院当たり医療費は、合計:5万558円に対し、男性:5万426円、女性:5万810円となっており、女性のほうが高くなっている。

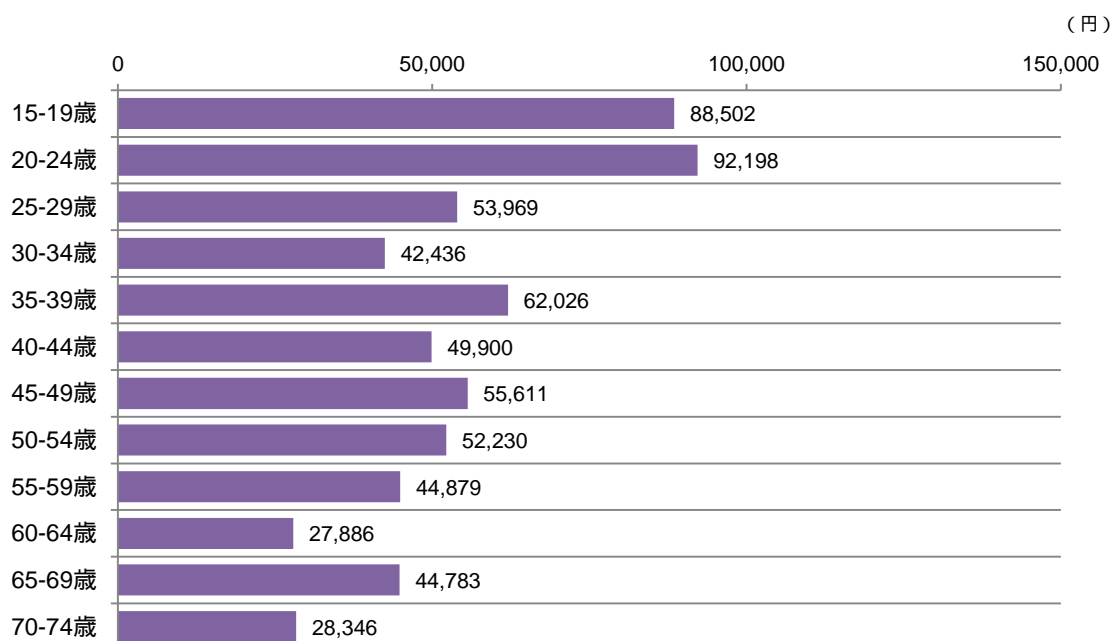
	区分	推計1入院当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	50,558
	男性	50,426
	女性	50,810

(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費

年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計1入院当たり医療費をみると、20-24歳:9万2,198円が最も高く、次いで、15-19歳:8万8,502円、35-39歳:6万2,026円となっている。

男女別にみると(p.41)、男性では、15-19歳、35-39歳、20-24歳の順に高く、女性では、20-24歳、15-19歳、35-39歳の順に高い。

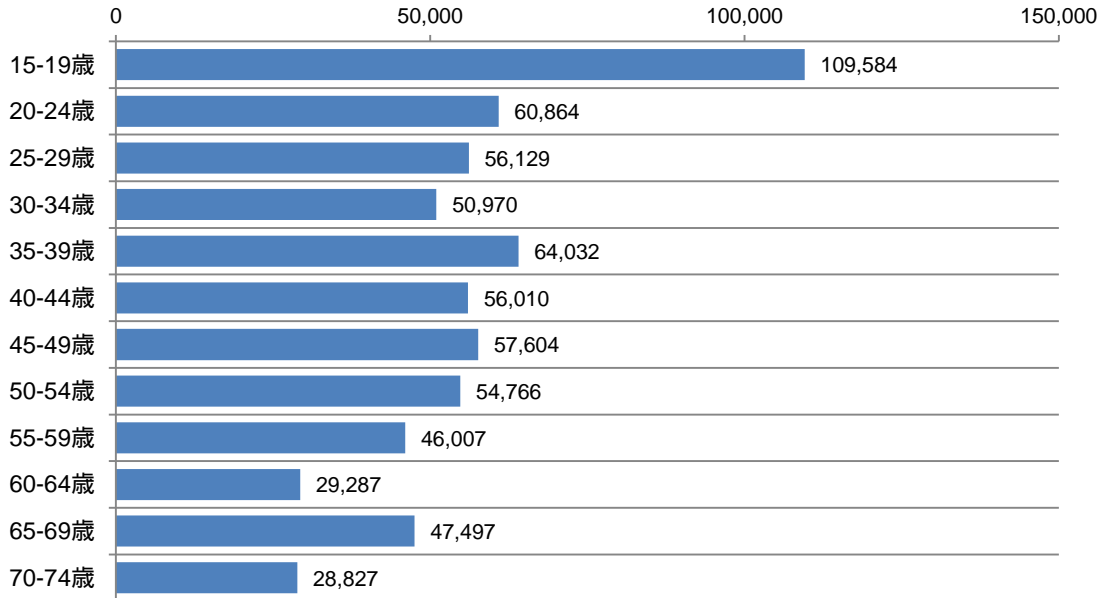
医科入院：推計1入院当たり医療費  
被保険者【男女計】





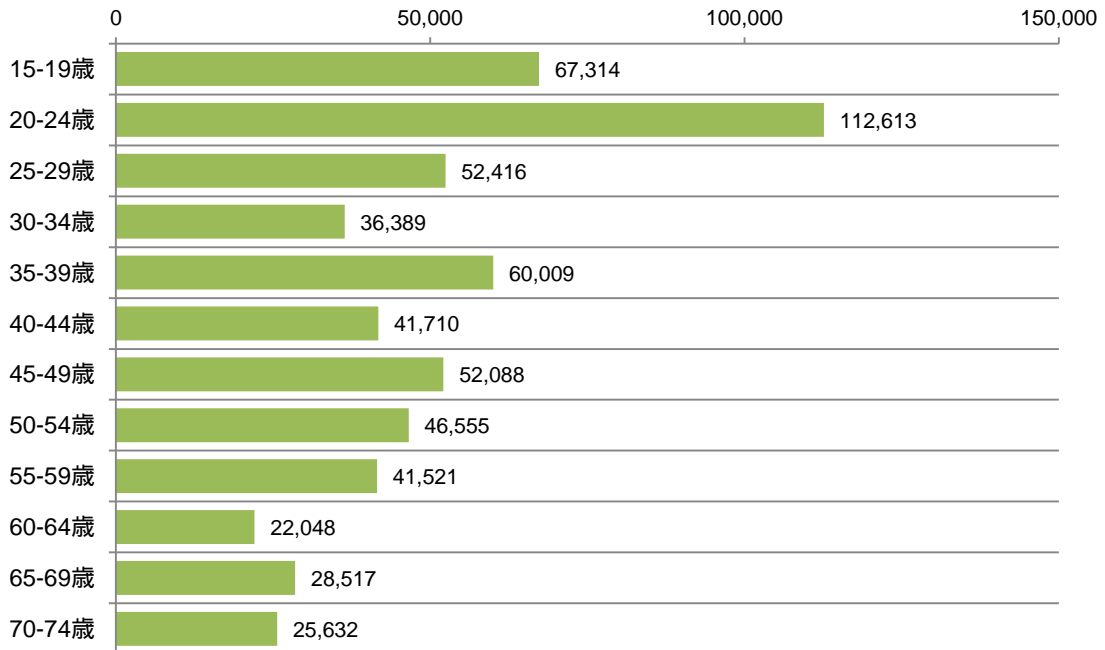
### 被保険者【男性】

(円)



### 被保険者【女性】

(円)



### (5) 推計平均在院日数

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計平均在院日数をみると、合計:28.2 日に対して、男性:31.8 日、女性:22.6 日となっており、男性のほうが長い。

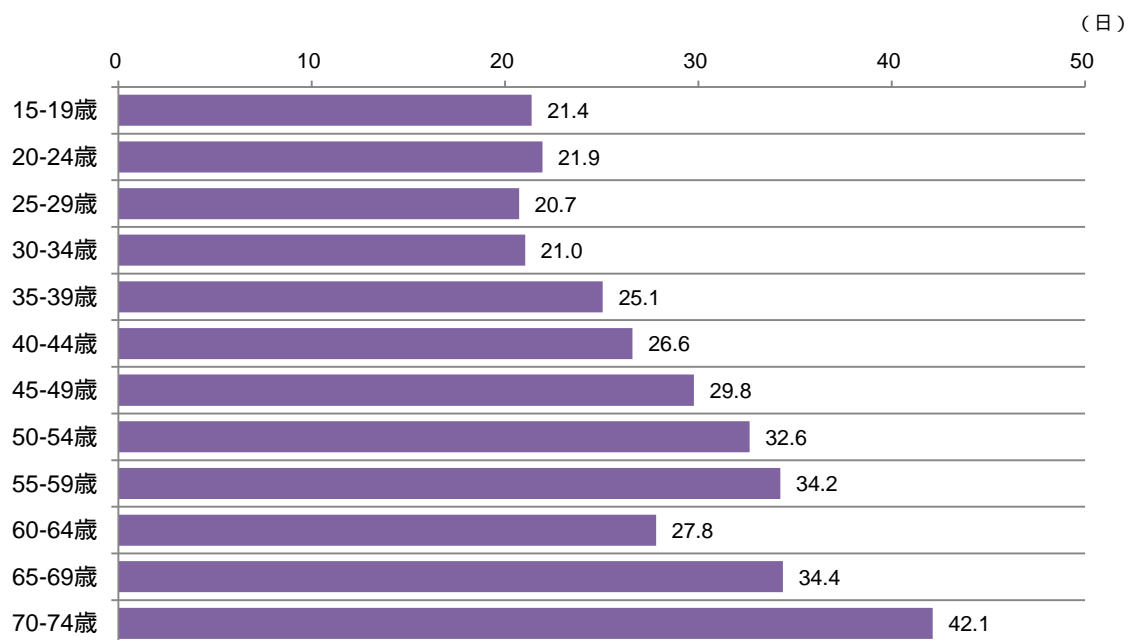
	区分	推計平均在院日数(日)
被 保 険 者	合計	28.2
	男性	31.8
	女性	22.6

### (6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数

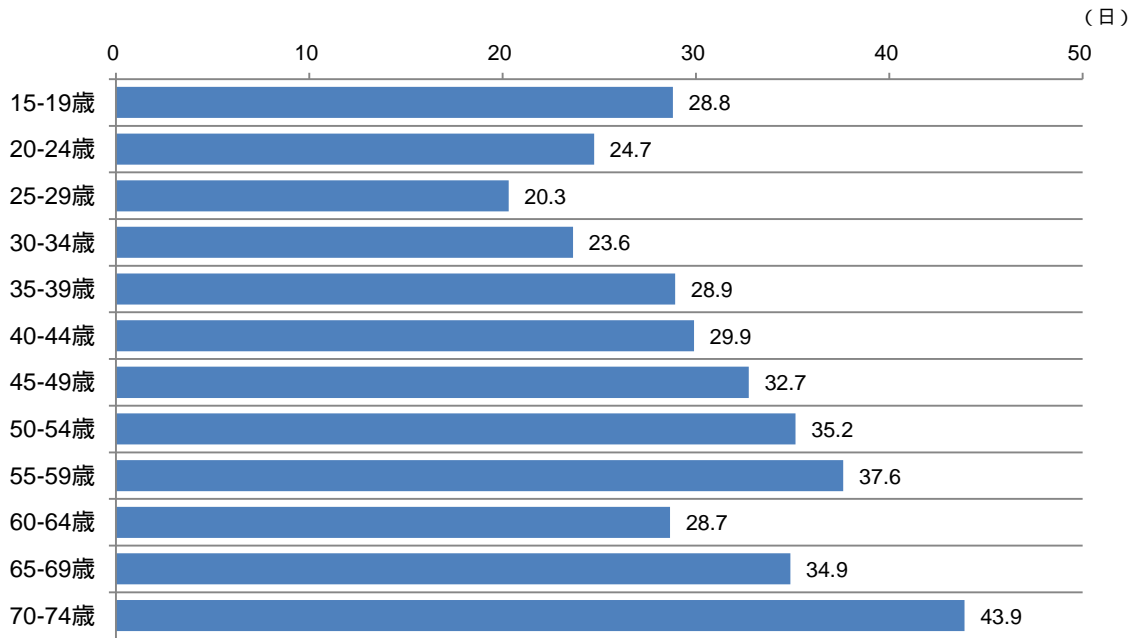
年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計平均在院日数をみると、70-74 歳:42.1 日が最も長く、次いで、65-69 歳:34.4 日、55-59 歳 34.2 日となっている。

男女別にみると(p.43)、男性では、70-74 歳、55-59 歳、50-54 歳の順に長く、女性では、70-74 歳、65-69 歳、50-54 歳の順に長い。

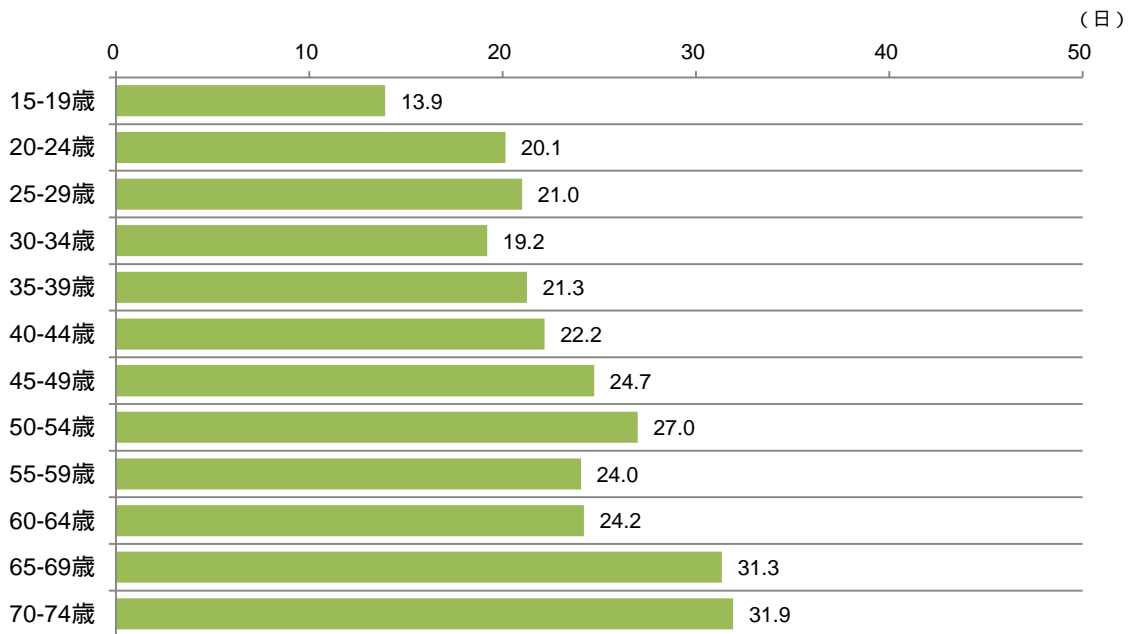
年齢階層別推計平均在院日数  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



(7) 千人当たり推計新規入院件数

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、合計:0.62件に対して、男性:0.58件、女性:0.69件となっており、女性のほうがやや多い。

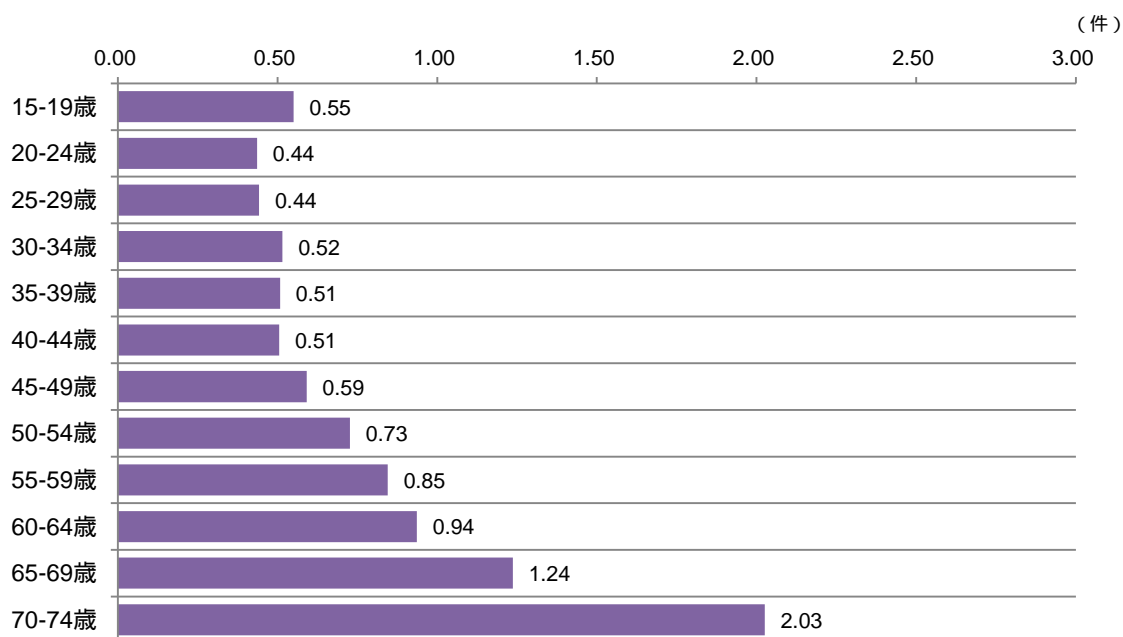
	区分	千人当たり推計新規入院件数(件)
被 保 険 者	合計	0.62
	男性	0.58
	女性	0.69

(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数

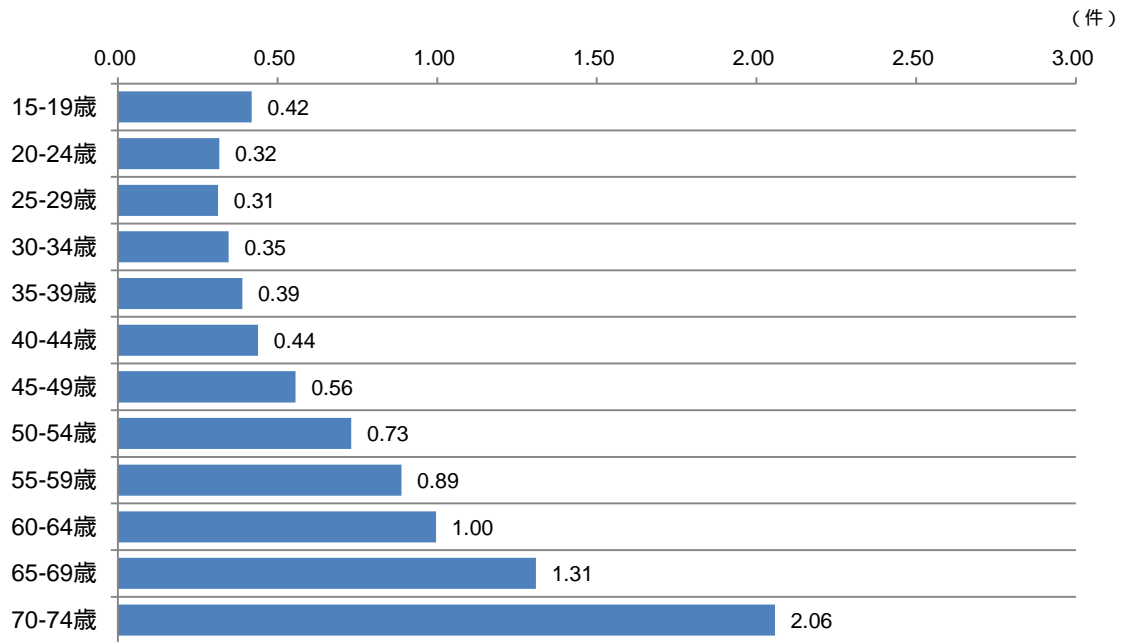
年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、70-74歳:2.03件が最も多く、次いで、65-69歳:1.24件、60-64歳:0.94件となっている。

男女別にみると(p.45)、男性では、70-74歳、65-69歳、60-64歳の順に多く、女性では、70-74歳、65-69歳、15-19歳の順に多い。

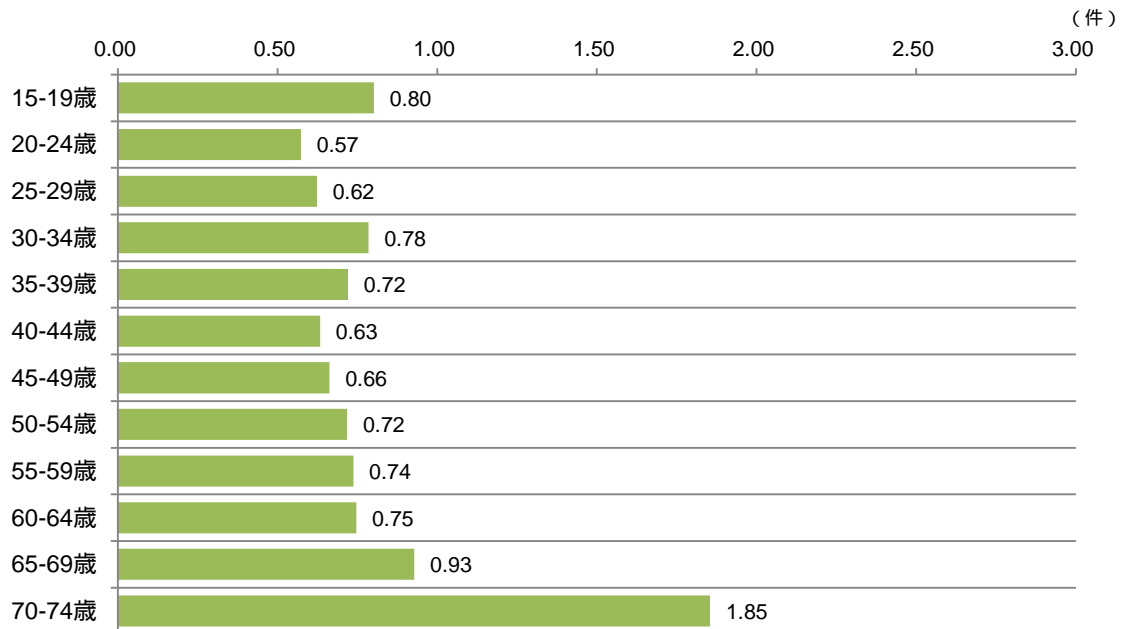
年齢階層別千人当たり推計新規入院件数  
被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



## 用語の定義

### 有病者数：

有病者数は、レセプト上に当該傷病名の記載がある受診者の数である（なお、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントしている。また、1 受診者に複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに 1 とカウントしている）。

### 疾病別医療費：

レセプトに記載された一ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、同一レセプトの医療費を疾病ごとに振り分けた結果をもとに算出している。

### 受診率（1,000 人当たり件数）：

当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したものである。

### 1 件当たり日数：

当該年度の 1 件当たり日数は、当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものである。

### 1 日当たり医療費：

当該年度の 1 日当たり医療費は、当該年度の医療費を診療実日数で除したものである。

### 1 人当たり医療費：

当該年度の 1 人当たり医療費は、当該年度の医療費を、当該年度末の平均加入者数で除したものである。

### 推計 1 入院当たり医療費：

入院患者 1 人にかかる、入院してから退院までの医療費の推計値である。

### 推計平均在院日数：

退院日を含む平均在院日数の推計値である。

### 推計新規入院件数：

当該年度の 4 月～3 月までの各月に入院した患者数の合計（推計値）である。

## 参考

### 1人あたり医療費と医療費3要素分解の算定式

#### 1人あたり医療費

$$= [\text{医療費}] \div [\text{加入者数}]$$

$$= \text{受診率} ([\text{レセプト件数}] \div [\text{加入者数}]) \times$$

$$\text{1件あたり日数} ([\text{日数}] \div [\text{レセプト件数}]) \times$$

$$\text{1日あたり医療費} ([\text{医療費}] \div [\text{日数}])$$

### 内科入院医療費の3要素分解の算定式 網掛け部分は従来の医療費3要素

$$\text{推計1入院あたり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{1日あたり医療費}$$

$$\text{推計平均在院日数} = \text{1件あたり日数} \times \frac{\text{月の日数} \quad \text{1日}}{\text{月の日数} \quad \text{1件あたり日数}}$$

$$\text{千人あたり推計新規入院件数} = \text{受診率(件)} \times \frac{\text{月の日数} \quad \text{1件あたり日数}}{\text{月の日数} \quad \text{1日}}$$

月の日数(暦日数であり、レセプト日数ではない)

・「単月」の場合は1ヵ月の日

例)1月の場合は31日、2月の場合は28日及び29日(閏年)

・「複数月」の場合は複数月の日数の合計を月数で割ったもの

例)12ヵ月の場合:365(366)日÷12=30.42(30.5)